

2023—2030

第三次
南会津町
総合振興計画

自然と人が笑顔を育むまち
～ともに生きる みんなのふるさと～

令和5年3月

第三次
南会津町
総合振興計画

夢と希望と活力に満ちた 南会津町の実現に向けて

令和5年 3月

南会津町長 渡部正義

Q どんなまちを
目指していきますか？

A 豊かな自然のなかで、本町にか
かわる人々が幸せに笑顔で過ごす
ことができるまちにしていきたいと思ってい
ます。

そのためには、自らが世代交代の担い手
となり、時代の変化に対応した施策を実行
し、活力ある豊かな暮らしを次世代につな
いでいくことが、私たち世代の責務だと考
えています。

Q 南会津の魅力や
強みは何ですか？

A 本町の魅力は、四季の移り変わりが
はっきりしていて美しい景観があること
です。また、人情に厚い土地柄であり、面倒見
の良い人が多く、日常的に助け合い・支え合い
の精神が根付いていることが強みです。

古くから交通の要衝として栄えてきた歴史や
そこで培われた文化なども大きな魅力です。今
後は会津縦貫南道路、栃木西部・会津南道路、
国道289号八十里越の整備により、地域のさら
なる活性化が期待されます。



Q 特に力を入れて取り組んでいくことは何ですか？

A 想定より早く進んでいる人口減少問題は、地域活力の低下や経済活動への悪影響を及ぼし、さらには、集落における支え合い機能の低下を招いており、早急に対策を講じる必要があります。

特に、定住対策や結婚支援、子育ての負担軽減、関係人口の創出を人口減少対策の柱に据えて力を入れて取り組みます。

また、生活環境や福祉・医療環境の充実により、町民が安心して生活でき、若い世代が南会津町に住み続けられるよう取り組んでいきます。

Q 町民のみなさんへメッセージをお願いします

A 住んでいる町民のみなさんが、南会津町への愛着と誇りを持つことで、よりいっそう“輝く”まちになると考えています。

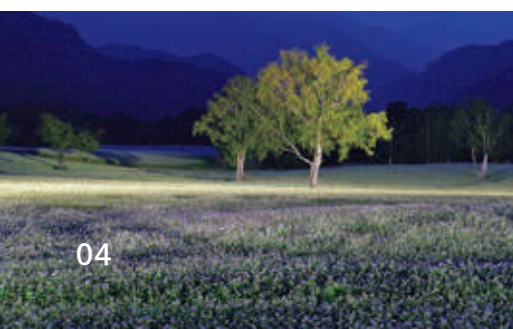
そのためには、みなさん一人ひとりが町の一員としてまちづくりにかかわっていただくことが重要です。町民のみなさんと行政が協働し、町全体が一体となって、「自然と人が笑顔を育むまち」を目指して、魅力あふれるまちづくりを推進していきましょう。



Contents

第1章 基本構想 ▶▶ p06

第1節	計画の策定にあたって	06
	1. 計画策定の目的	06
	2. 計画の位置づけと役割	06
	3. 計画の構成・期間	07
	4. 計画の推進体制	07
第2節	目指す将来の姿	08
	1. まちづくりの基本的な考え方	08
	2. 町民の想い	10
	3. まちの将来像	12
	4. まちづくりの展開	13
第3節	まちづくりの背景	16
	1. 社会潮流	16
	2. 本町の概要	18
	3. 町民の意識（町民アンケートより抜粋）	20
	4. 現状・課題	23
	5. 人口フレームなど	26
第4節	横断的な視点	28
	1. SDGs	28
	2. Society5.0	29
	3. 「スマートシティ」を目指して	30





第2章 基本計画 ▶▶ p32

柱1 豊かな自然ときれいな水が育む元気に安心して過ごせるまちづくり

- ① 豊かな自然と生活環境を守る 34
- ② 健康づくり・医療の充実 36
- ③ 高齢者や障がい者にやさしい福祉 38
- ④ 結婚・子育て支援の充実 40

柱2 魅力を高め活力を生み出すヒト・モノ・カネの好循環化

- ⑤ 地域特性をいかした農林業の推進 42
- ⑥ 商工業の再生 44
- ⑦ 観光・地域間交流のさらなる推進 46
- ⑧ 誰もが輝いて働くことができる就労環境 48

柱3 快適で充実した生活が送れる魅力ある生活基盤づくり

- ⑨ 良好な居住環境の整備 50
- ⑩ 持続可能な上下水道 52
- ⑪ 町民みんなにやさしい交通 54
- ⑫ 災害・犯罪への備え 56

柱4 世代を超えて「南会津愛」を育む“共育”のまちづくり

- ⑬ 学ぶ力を育てる学校教育の推進 58
- ⑭ 生涯を通じた学びの場の提供 60
- ⑮ 南会津の宝をまもり、つなぐ 62

柱5 誰もが主役で誰もがつながる未来を見据えた協働によるまちの運営

- ⑯ デジタル化の推進 64
- ⑰ 地域コミュニティの充実 66
- ⑱ 住民参加のまちづくり、行政と町民協働のまちづくり 68
- ⑲ 効率的・効果的な行財政運営 70

資料編 ▶▶ p72



第1章 基本構想

第1節 計画の策定にあたって

1. 計画策定の目的

本町では、平成23(2011)年度から令和2(2020)年度までの10年間の計画として「第2次南会津町総合振興計画」(以下、「第2次計画」という。)を策定しました。

第2次計画では「ひとが“集まる”まち」「ひとを“育む”まち」「みんなが“輝く”まち」という3つのまちづくりの理念のもと、まちの将来像を「互いを思いやり、人と自然がやさしさに包まれた、安心と信頼のまち」とし、すべての町民が笑顔で安心して暮らせる、魅力あるまちづくりを目指して施策に取り組んできました。

令和2(2020)年度には2か年延長し、令和4(2022)年度に計画の終期を迎えています。さらに、昨今では時代の潮流や変化、さらには本町を取り巻く課題を的確に把握し、将来的視点と展望に立ったまちづくりの方向性と本町の進むべき目標を示していくことが求められています。

これらを踏まえ、本町を次世代に引き継ぐ計画として、「第3次南会津町総合振興計画」(以下、「本計画」という。)を策定するものです。

2. 計画の位置づけと役割

総合振興計画は、将来の本町のあるべき姿とそれを実現するための施策を定めたまちづくりの指針となるものであり、本町の最上位計画となるものです。

国や県の行政計画との整合性を図るとともに、町民や各種団体に対しての啓蒙啓発を図ることはもちろん、町行政における事業計画はこの計画を踏まえて策定されます。

また、町民、地域、関係団体、企業、行政が将来像及び各種分野の方向性を共有し、全町を挙げて推進する「まちづくりの指針」となるものです。



総合振興計画と まち・ひと・しごと創生総合戦略の関係

平成27(2015)年に策定された南会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口減少対策と地域活性化を目指すための計画です。一方、本計画においても人口減少対策と地域活性化は大きなテーマとなっています。そのため、本計画が総合戦略の具体的な事業を内包することにより、人口減少対策と地域活性化に向けた施策の方向性との整合性を保つものです。

3. 計画の構成・期間

本計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層で構成し、このうち、「基本構想」「基本計画」を計画書としてまとめています。

本計画は、令和5(2023)年度を初年度とし、令和12(2030)年度を目標年次とする8年間の計画とします。

基本構想

本町の特性や町民意向、社会潮流などを勘案し、まちづくりの将来像と、それを実現するための目標の柱を示す。

基本計画

基本構想に基づき、前後期4年間に取り組む主要施策などを各分野で体系的に定める。

実施計画

基本計画で定められた施策を事務事業として位置付ける。

基本
構想基本
計画実施
計画

4. 計画の推進体制

本計画の目指す成果を達成するため、庁内組織の横断的な連携を図り、全庁を挙げて施策を着実に推進します。

まちづくりを進めるにあたっては、町民、地域、企業、関係機関・団体の意見を聴取する機会を設け、町内外問わず本町にかかわるすべての人や団体との協働により、町民がいつまでも幸せに暮らせる持続可能なまちづくりを目指します。

また、本計画の進行管理は、PDCAサイクルマネジメントの手法に基づき庁内において事業進捗調査を実施します。

第2節 目指す将来の姿

1. まちづくりの基本的な考え方

本町は平成18(2006)年に田島町・館岩村・伊南村・南郷村が合併し、誕生しました。

その際には、「町民生活のあるべき姿」として、『南会津町民憲章』がつけられました。

また、合併の際につくられた『新町まちづくり計画』では3つのまちづくりの基本理念が定められ、この基本理念に基づいて様々な取組が進められてきました。



南会津町民憲章

平成18年7月1日制定

わたくしたちは、美しい自然と古い歴史にめぐまれ、文化の薫り豊かな南会津町民であることに自覚と誇りをもちます。

わたくしたちは、この町をさらに住みよく豊かにするため、ひとりひとりの望ましい生活と町のめざす道を明らかにします。

- 1 自然を愛し、美しい町をつくりましょう
- 1 心身を鍛え、健康な町をつくりましょう
- 1 楽しく働き、活力のある町をつくりましょう
- 1 たがいに助け合い、住みよい町をつくりましょう
- 1 きまりを守り、明るい町をつくりましょう
- 1 教養を高め、文化の町をつくりましょう

これらは本町のまちづくりの根底にあるものです。『南会津町民憲章』に込められた想いや『新町まちづくり計画』での理念を根底に、時代の潮流に合わせたまちづくりを進めていきます。

『新町まちづくり計画』のまちづくりの理念

ひとが“集まる”まち

地域資源を活用した産業の振興や就労の場の拡充による若者定着、また、地域間交流の促進による交流人口の増加を図り、ひとが“集まる”活力あるまちづくりを進めます。

ひとを“育む”まち

まちづくりの原動力となるひとを“育む”まちとして、誰もが新しいことに挑戦する気運の醸成や、社会情勢の変化にも柔軟に対応できる“生きる力”を持った人材の育成を図ります。

みんなが“輝く”まち

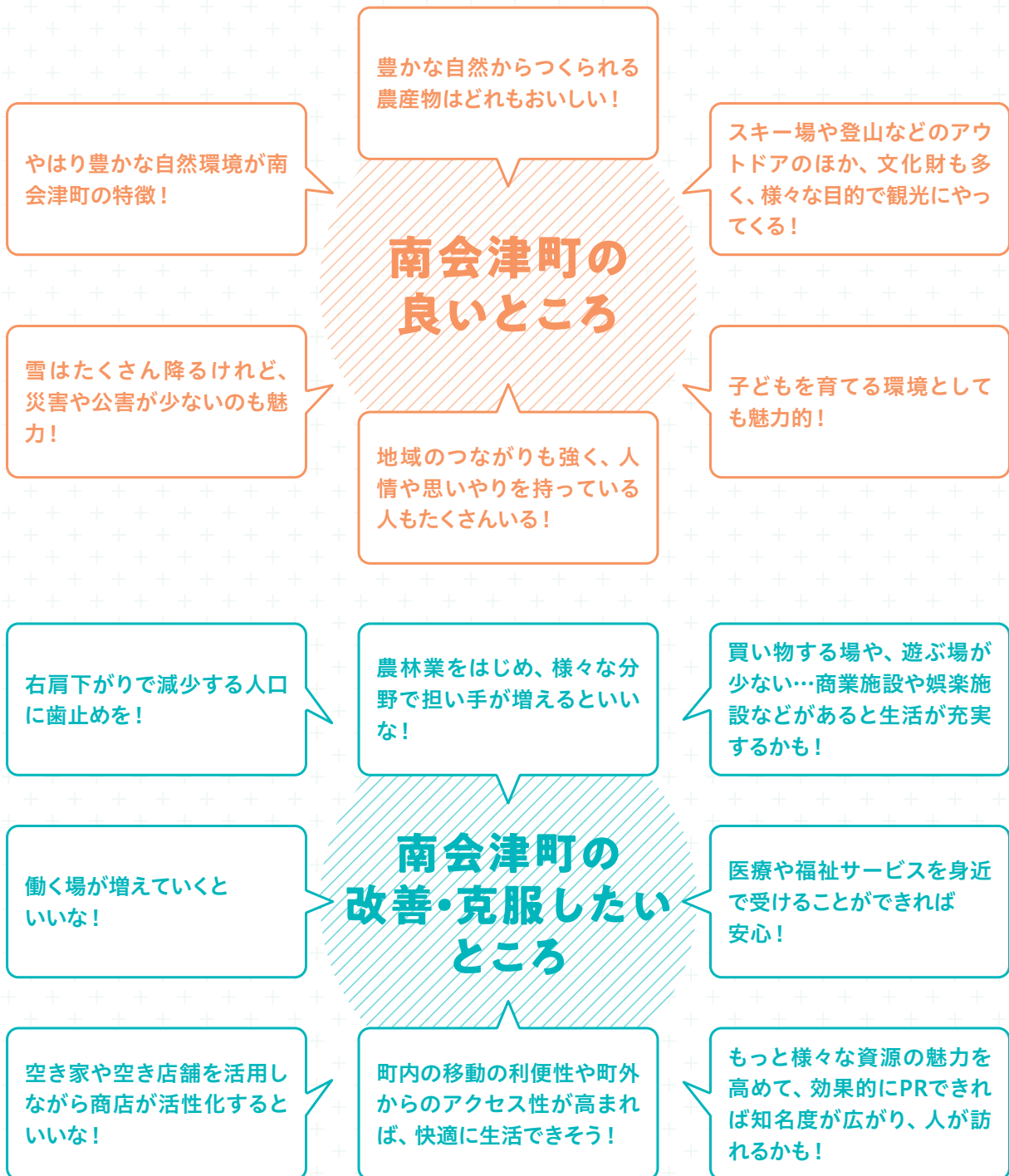
快適で豊かな生活空間の創造や、誰もが安全で安心して暮らすことのできる生活環境の形成を図りながら、自然環境と共存していくことで、住んでいる人が南会津町への愛着と誇りを持って笑顔で元気に生活できる、みんなが“輝く”まちづくりを進めます。

第2節 目指す将来の姿

2. 町民の思い

まちの将来像及び目標の柱の設定に当たり、町民の思いを把握するため、町民アンケートやワークショップを行いました。ワークショップでは町民アンケートを踏まえて本町の良いところ、改善・克服したいところをまとめ、そこから理想的な本町の未来の姿を導き出しました。

南会津町の良いところ／改善・克服したいところ



みんなで考えた未来の姿

まち全体の
未来のイメージ

心が安らぐ
場所に！

空き家や空き地
がないまち！

昔からの文化が
根付くまち！

移住者、定住者
が増えるまち！

楽しく
暮らせるまち！

豊かな自然を
フル活用！

若い人たちが
増える！

にぎわいが
あるまち！

持続可能な
まち！



町民どうしの
絆が生まれる
まち！

町民も一緒に
まちの宣伝を！

助け合い、
支え合いが
あるまち！

子どもの笑顔が
輝くまち！

日本中から人が
集まるまち！

雪を活用し、
雪と共存できる
まち！

誰もが安心して
暮らせるまち！

豊かな人間性を
育めるまち！

地域産業が潤う
まち！

多様な働き方が
できるまち！

まちの良いところをみんなが
知っている！

デジタルに対応
したまち！

豊かな自然で
日本一おいしい
農作物づくり！

アクセス・
移動がしやすい
まち！

町民生活の
未来のイメージ

産業・観光の
未来のイメージ

第2節 目指す将来の姿

3. まちの将来像

将来像は、8年後のまちの理想の姿を描くものです。

次の8年は、豊かな自然の中で生まれ発展してきた歴史と伝統の中で、恵まれた地域資源とこれまで積み重ねてきた成果を十分にいかし、町民一人ひとりが幸せを実感できるまちづくりを進めるために、将来像を次のように定めます。



本町は水稲、南郷トマト、会津田島アスパラガスなどの特産品をはじめとした農業や、製造業、観光・レジャー産業など、雄大な自然環境を背景に発展してきました。また、各集落の形成や、町民の生活もこの自然環境の中で培われてきました。

本町の自然環境は、これからも変わることなくまち発展の礎となります。

一方、少子高齢化の進行により、人とのつながりをこれまで以上に強め、広げていくことが重要となっています。そのような中で、これからも自然環境に寄り添ったまちづくりを進め、本町に関わる人々が幸せに笑顔で過ごすことができるまちを目指します。

また、誰もが生まれ育った地域で暮らし続ける時代ではなく、進学や就職を理由に町外へ転出される方もいます。そのような中、人と人とのつながりや絆を大切に、町民だけでなく、本町を離れた人も訪れた人もいつまでもつながり続けることで、ともにこれから生きていく、「みんなのふるさと」となることを目指します。

4. まちづくりの展開

施策体系図

本町の将来像を実現するための5つの目標の柱を定め、これまでの取組を最大限にいかすまちづくりを町民と協働で進めます。なお、目標の柱は、町民と職員で構成された策定部会においてワークショップを行い設定しました。このほか、町が優先して取り組むべき施策として人口減少対策が挙げられますが、各分野すべてにかかる最重要課題として南会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、課題解決に取り組んでいます。

目標の柱		施策	横断的視点
1	豊かな自然ときれいな水が育む 元気に安心して過ごせるまちづくり P34	1 豊かな自然と生活環境を守る	
		2 健康づくり・医療の充実	
		3 高齢者や障がい者にやさしい福祉	
		4 結婚・子育て支援の充実	
2	魅力を高め活力を生み出す ヒト・モノ・カネの好循環化 P42	5 地域特性をいかした農林業の推進	
		6 商工業の再生	
		7 観光・地域間交流のさらなる推進	
		8 誰もが輝いて働くことができる就労環境	
3	快適で充実した生活を送れる魅力ある生活基盤づくり P50	9 良好な居住環境の整備	
		10 持続可能な上下水道	
		11 町民みんなにやさしい交通	
		12 災害・犯罪への備え	
4	世代を超えて「南会津愛」を育む “共育”のまちづくり P58	13 学ぶ力を育てる学校教育の推進	
		14 生涯を通した学びの場の提供	
		15 南会津の宝をまもり、つなぐ	
5	誰もが主役で誰もがつながる未来を見据えた協働によるまちの運営 P64	16 デジタル化の推進	
		17 地域コミュニティの充実	
		18 住民参加のまちづくり、行政と町民協働のまちづくり	
		19 効率的・効果的な行財政運営	

第2節 目指す将来の姿

目標の柱

1

豊かな自然ときれいな水が育む 元気に安心して過ごせるまちづくり

南会津の豊かな自然や水を後世に引き継ぐため、全町をあげて環境保全に取り組む必要があります。

また、人口減少、少子高齢化が進む中で、町民一人ひとりが健康で、安全で安心して暮らすことが求められています。

そのため、本町の雄大な自然をいかし、守りながら、町民一人ひとりがいつまでも健康に安心して生活できる環境づくりを目指します。

施策

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 豊かな自然と生活環境を守る | 2 健康づくり・医療の充実 |
| 3 高齢者や障がい者にやさしい福祉 | 4 結婚・子育て支援の充実 |

目標の柱

2

魅力を高め活力を生み出す ヒト・モノ・カネの好循環化

人口減少にあるなかで、市場の縮小、人材不足などを背景に、本町の産業は悪循環に陥っています。産業の好循環に向けて、「儲け」を生み出し、地域が潤い、産業が活性化し、良い物を作り、全国へのPRにつなげていけるかが重要であり、人材の確保・育成から、PR・お金・地域に良い効果を波及させる必要があります。

また、本町には就労の場が少ないほか、商店街も店舗が少なく活気がない現状を打破していくことが必要です。そのためには、農林業や商工業の生産性を向上させ地域振興を促進し、町内の経済を循環させていくことが重要となります。

そのため、これまで本町で培われてきた地域特性をいかし、産業振興と雇用の創出を図り、「ヒト」「モノ」「カネ」の好循環を生み出すまちづくりを目指します。

施策

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 5 地域特性をいかした農林業の推進 | 6 商工業の再生 |
| 7 観光・地域間交流のさらなる推進 | 8 誰もが輝いて働くことができる就労環境 |

目標の柱

3

快適で充実した生活が送れる 魅力ある生活基盤づくり

持続可能なまちづくりに向けては、活気の維持・向上と快適な環境づくりが求められています。そのため、道路や公共交通網、水道などの生活基盤の整備・拡充、地域コミュニティの構築による防災・防犯などを通して、町民が楽しく快適に生活を送ることができる都市基盤づくりを目指します。

施策

9 良好な居住環境の整備

10 持続可能な上下水道

11 町民みんなにやさしい交通

12 災害・犯罪への備え

目標の柱

4

世代を超えて「南会津愛」を育む “共育”のまちづくり

地域の担い手の育成には郷土愛を育む必要があり、世代を超えてともに育つという意味で“共育”の考え方が重要となります。

また、教育は「人づくり」「地域づくり」が根幹になるため、学校だけでなく、家庭、地域などすべての町民がともに育ち、生涯学習を進めていくことが求められています。

そのため、町民一人ひとりが郷土の歴史や文化に触れ、人と人との交流を深めることで、ふるさとの良さや本町で暮らす喜びを知ることができるまちづくりを目指します。

施策

13 学ぶ力を育てる学校教育の推進

14 生涯を通した学びの場の提供

15 南会津の宝をまもり、つなぐ

目標の柱

5

誰もが主役で誰もがつながる 未来を見据えた協働によるまちの運営

本町では、人口減少や厳しい財政状況のなかで、老若男女問わず町民みんなが主役となり、様々な機会・方法で町内外とつながり、町民と行政が一体となって同じ未来を見据えて協働のまちづくりに取り組んでいくことが重要です。

また、様々な場面でみられる「人手不足」は情報技術の進展（デジタル化）により補うことができ、多様な場面でこの技術を活用していくことが求められます。

そのため、時代の変化に誰一人取り残されることなく、町民一人ひとりがまちづくりの主役として輝くことができる行政運営を目指します。

施策

16 デジタル化の推進

17 地域コミュニティの充実

18 住民参加のまちづくり、行政と町民協働のまちづくり

19 効率的・効果的な行財政運営

第3節 まちづくりの背景

1. 社会潮流

人口減少・ 少子高齢化の進行

- ◆ 我が国の人口減少は、今後、少子高齢化の進行に加え、老年人口さえも減少していく人口構造の変化を伴いながら加速度的に進むとされており、労働力人口や消費市場の縮小など、地域社会に深刻な影響を与えることが懸念されています。
- ◆ 我が国全体の老年人口がピークに達する「2040年問題」への対策（医療・社会保障、労働生産性、都市のコンパクト化、過疎化・空き家対策など）が急務です。
- ◆ このような中、国と地方が一体となって人口減少のスピードを抑制するとともに、地域の特性をいかした交流・関係人口*の拡大による活力創出や、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めることが重要になっています。
- ◆ 地方においては、若年層の就職などに伴う大都市圏への流出などが続いており、地域経済の活力喪失を防ぐため、若い世代にとって魅力ある環境の創出を図る必要性が高まっています。
- ◆ 人口減少が進む社会では、性別、年齢、障がいや病気の有無、国籍などを問わず、意欲のある人があらゆる場面で活躍する「総活躍社会」の創造が求められます。

安全安心を脅かす リスクの高まり

- ◆ 近年、全国各地で甚大な被害を及ぼしている集中豪雨や台風に加え、巨大地震や火山噴火の懸念、新たな感染症の流行などにより、安全安心な暮らしを脅かすリスクが高まっています。
- ◆ 今後起こりうる危機事象による社会経済への影響を最小限にとどめ、迅速に回復が行われる体制を整えるためには、行政や町民、事業者などがそれぞれの役割を認識しながら、相互に連携して、本町の安全性を高めていくことが求められています。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症に伴う甚大な影響は、地球規模で社会、経済、人々の行動や価値観などあらゆる面に波及し、長年にわたり、大きくその影響を受けることが予想されます。このような中、感染症拡大防止の対応と社会経済活動の両立を進め、変化に柔軟に対応しながら、新たな経済社会の姿を実現することが求められています。

*関係人口：移住した「定住人口」でもなく、観光に訪れた「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人。

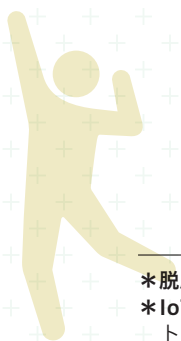
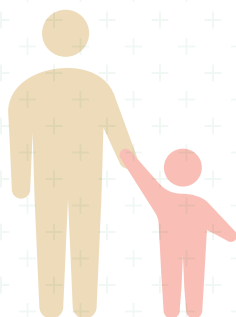
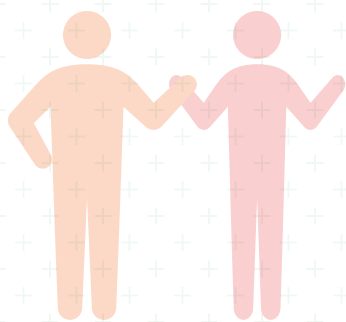
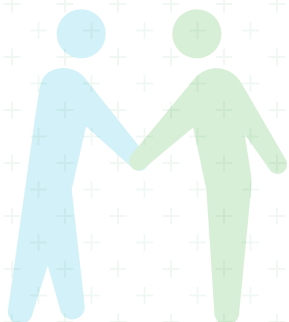
価値観の 変化・多様化

- ◆ 我が国は、医療の発達と健康意識の向上などによって人生100年時代を迎え、生涯にわたり活躍できる社会が求められています。
- ◆ 国籍、文化、価値観が多様化する社会において、互いに尊重する「共生社会」の形成がますます重要です。
- ◆ 性別に関係なく、意欲に応じてあらゆる分野で活躍できる社会の実現が求められています。



技術革新(イノベーション)、 国際化などによる 社会の変革

- ◆ 世界規模で問題となっている地球温暖化対策のため、地域資源を有効活用した再生可能エネルギーの導入などを通して、脱炭素社会*の実現に向けた取組を進める必要があります。
- ◆ 国連サミットにおいてSDGs(エス・ディー・ジーズ「持続可能な開発目標」)が採択され、令和12(2030)年の目標達成に向けて世界が動き出しています。世界共通のSDGsの17の目標は、経済成長・雇用、健康・福祉、気候変動などで構成されていることから、一人ひとりが持続可能な社会を形成するため主体的に行動することが大切です。
- ◆ 情報通信技術の飛躍的な発展や交通手段の発達などにより、国際化が一層進展し、世界規模で社会的・経済的な結び付きが深まっています。IoT*、ビッグデータなど第4次産業革命*ともいわれる技術革新が進む中、新しい生活様式の実践も相まって、経済活動や日常生活におけるデジタル技術の活用(Society5.0*の導入)が、今後さらに社会全体へ広がることが予想されています。



- ***脱炭素社会**：地球温暖化の大きな要因となっている、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出が抑えられた社会。
- ***IoT**：Internet of Things の略で、「モノのインターネット」と呼ばれる。自動車、家電、ロボットなど、あらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやりとりをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化などが進展し、新たな付加価値を生み出す。
- ***第4次産業革命**：デジタルな世界と物理的な世界と人間が融合する環境。具体的には、あらゆるモノがインターネットにつながり、そこで蓄積される様々なデータを、人工知能などを使って解析し、新たな製品・サービスの開発につなげるなどとされている。
- ***Society5.0**：サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)のこと。

第3節 まちづくりの背景

2. 本町の概要

地理的状況

- ◆ 本町の総面積は886.47km²です。福島県の南西部に位置し、南会津郡の下郷町・只見町・檜枝岐村、大沼郡の昭和村、栃木県那須塩原市・日光市と隣接し、東北地方の南の玄関口となる地域です。
- ◆ 平成18(2006)年3月20日に田島町・館岩村・伊南村・南郷村が合併して誕生しました。
- ◆ 会津縦貫南道路、栃木西部・会津南道路、国道289号八十里越の整備が進んでいます。



自然の状況



- ◆ 地形は、越後山系から連なる帝釈山(標高2,059.6m)を最高峰に、山に囲まれています。
- ◆ 河川は、荒海山を源とする阿賀川水系と伊南川水系の2つを有しています。
- ◆ 気候は、夏は朝夕しのぎやすい大陸型、冬は厳しい日本海型に属し、館岩・伊南・南郷地域は特別豪雪地帯に指定されています。

産業・経済の状況

- ◆ 農業は、水稻を中心に、地域団体商標*を取得している南郷トマトや会津田島アスパラガスのほか、ソバ・尾瀬リンドウ・カスミ草などの栽培が行われています。
- ◆ また、古くから酒造りが行われており、町内4つの酒蔵で造られる日本酒は多くの人に親しまれています。
- ◆ そのほか、自動車部品・精密機械・通信機器・縫製・光学レンズ・地場木材産業などの立地企業や観光レジャー産業があります。



*地域団体商標：「地域ブランド」として用いられることが多い地域の名称及び商品(サービス)の名称などからなる文字商標について、登録要件を緩和する制度。地域の産品などについて、事業者の信用の維持を図り、「地域ブランド」の保護による地域経済の活性化を目的として平成18(2006)年に導入された。

観光の状況

- ◆ 尾瀬国立公園に指定されている田代山・帝釈山をはじめ、本町の雄大な自然環境の中で様々なアクティビティを体験することができます。阿賀川・湯ノ岐川・伊南川などでの溪流釣り、七ヶ岳・田代山・帝釈山・三ツ岩岳・大博多山などでの登山、駒止・田代山・宮床湿原などでの自然散策、滝原・湯ノ花・小豆・山口温泉などの温泉施設、だいくら・たかつえ・高畑・南郷の各スキー場など、四季折々の魅力をいかした観光を推進しています。
- ◆ また、平成29(2017)年に首都圏から会津田島駅までの特急乗り入れが開始され、首都圏からのアクセス性が向上しています。



歴史・伝統行事・伝統芸能の状況

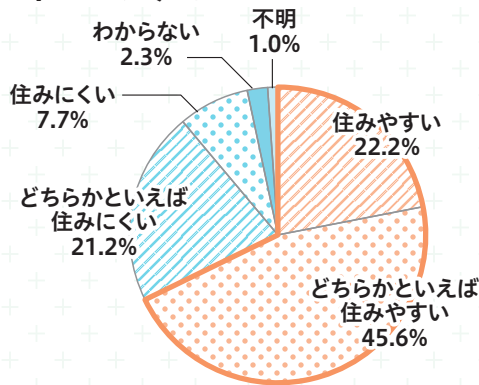
- ◆ 本町の歴史は古く、石器、土器の出土により縄文時代以前から先人の居住が知られています。鎌倉時代に長沼氏の所領として田島地域に嶋山城が築かれたほか、安土・桃山時代には伊南地域に、伊達家の侵攻に備えるために河原田氏により久川城が築かれました。江戸時代には、町内全域や大沼郡・栃木県塩谷郡の一部とともに幕府直轄地「南山御蔵入領」となり、その後も下野街道(会津西街道)の主要宿場町の一つとして栄えました。
- ◆ 伝統行事・伝統芸能として、820余年の伝統を誇り、国指定重要無形民俗文化財に指定されている「田島祇園祭のおとうや行事」、田島地域の「子供歌舞伎」・「栗生沢三ツ獅子」「高野三匹獅子」、舘岩地域の「湯ノ花神楽」、伊南地域の「古町まつり」、南郷地域の「早乙女踊り」などが伝承されているほか、江戸時代からの太鼓胴の産地としても知られています。また、古くから会津田島祇園祭の衣装染めを通して藍染が行われおり、町民により設立された藍染保存会が技術の継承に取り組んでいます。

第3節 まちづくりの背景

3. 町民の意識（町民アンケート*より抜粋）

本計画の策定にあたり、町民の意識を把握するため町民アンケートを実施しました。18歳以上の町民1,000人を対象に、令和3（2021）年8月25日～9月8日に実施したところ、388人の回答を得られました（回収率38.8%）。

● 本町の住みやすさ



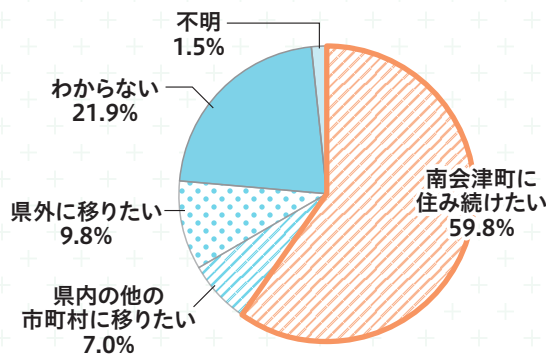
「住みやすい」
+
「どちらかといえば住みやすい」

67.8%

（平成27（2015）年調査：61.3%）

30歳未満	54.5%	30歳代	58.6%
40歳代	80.0%	50歳代	64.4%
60歳代	66.3%	70歳代	76.9%

● 今後の居住意向



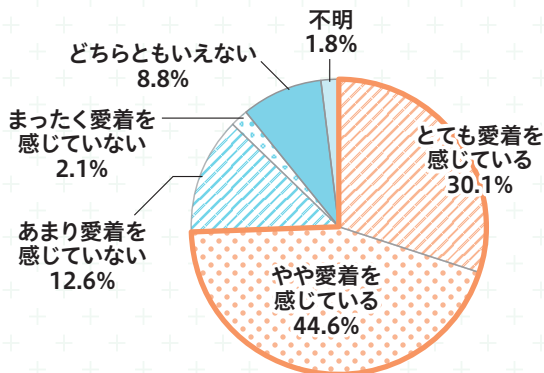
「南会津町に住み続けたい」

59.8%

（平成27（2015）年調査：54.6%）

30歳未満	38.6%	30歳代	37.9%
40歳代	52.0%	50歳代	59.3%
60歳代	67.4%	70歳代	81.3%

● 本町への愛着



「とても愛着を感じている」
+
「やや愛着を感じている」

74.7%

（平成27（2015）年調査：66.9%）

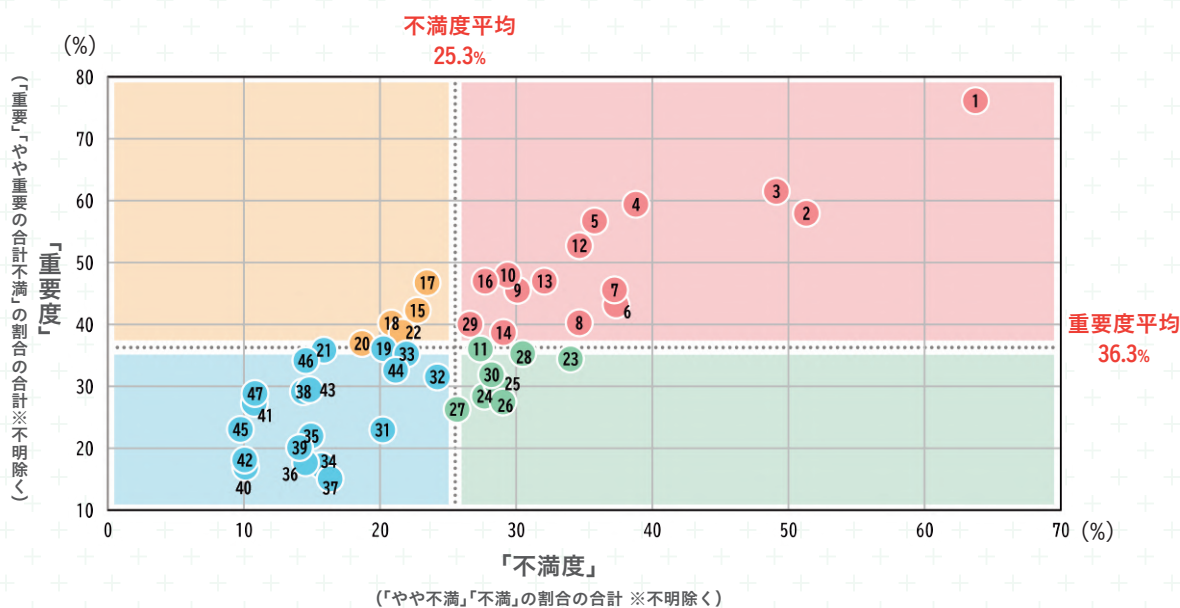
30歳未満	84.1%	30歳代	69.0%
40歳代	80.0%	50歳代	62.7%
60歳代	73.3%	70歳代	80.2%

*町民アンケート：そのほか結果については資料編73ページ参照。

● 各取組の不満足と優先度

本町が行う取組のうち、「安心できる地域医療の充実」「利便性の高い公共交通の確立」「安心して働ける環境づくり」「病気の重症化予防と医療費等の削減」に対しての不満足が高く、重要度が高いため優先して取り組むべきであると感じていることが分かりました。

取組の不満足と優先度



不満足が
高く、
重要度が
高い項目

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 安心できる地域医療の充実 | 9 質の高い行政サービスの確保 |
| 2 利便性の高い公共交通の確立 | 10 教育環境の整備充実 |
| 3 安心して働ける環境づくり | 12 安全で安心な道路の整備促進 |
| 4 病気の重症化予防と医療費等の削減 | 13 地域の特性をいかした産業の育成 |
| 5 高齢者社会への対応 | 14 移住定住の促進と定住者支援の充実 |
| 6 高度情報化社会への対応 | 16 克雪・利雪・親雪の推進と充実 |
| 7 観光業分野での挑戦 | 29 集落支援の充実 |
| 8 効率的・効果的な行財政運営 | |

不満足が
低く、
重要度が
高い項目

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 15 障がい者福祉の充実 | 20 健全な子どもを育てる家庭教育の充実 |
| 17 みんなで支え合う子育て環境づくり | 22 自然環境の保全と自然資源の高度利用 |
| 18 みんなで支え合う地域福祉の充実 | |

不満足が
高く、
重要度が
低い項目

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 11 行政情報の共有による透明性の確保 | 26 町民との協働による景観づくりの推進 |
| 23 計画的な土地利用の推進 | 27 行政評価による進行管理 |
| 24 多様なニーズに対応した住宅政策の展開 | 28 商工業分野での挑戦 |
| 25 出合いの機会の充実 | 30 各種産業間の連携による6次産業の確立 |

不満足が
低く、
重要度が
低い項目

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 19 農業分野での挑戦 | 38 健康づくりに役立つ食生活と運動の推進 |
| 21 犯罪や災害から地域を守る体制づくりと消費者の安全確保 | 39 協働によるまちづくり |
| 31 地域間交流の推進 | 40 生涯スポーツライフの確立 |
| 32 林業分野での挑戦 | 41 自主的な健康づくりの推進 |
| 33 挑戦を応援する環境づくり | 42 地域コミュニティ活動の推進 |
| 34 芸術文化の振興 | 43 貴重な自然遺産と文化の保存・伝承 |
| 35 充実した生涯学習社会の確立 | 44 生活排水対策の充実 |
| 36 男女共同参画社会の形成 | 45 東日本大震災からの復興と安全・安心のまちづくり |
| 37 国際交流の推進 | 46 環境衛生対策の充実 |
| | 47 水道施設の計画的な整備と安全安心な水資源の確保 |

第3節 まちづくりの背景

■ 高校生の意識（高校生アンケート*より抜粋）

本町では、若者にとって魅力的な定住・移住政策を行い、若者の町外流出に歯止めをかけることを目的に、高校生の就職に対する考え方などを把握するためのアンケートを、毎年県立田島高校及び県立南会津高校の3年生を対象として実施しております。

本計画を推進し、8年後の理想の姿を実現するためにも、未来を担う若者の存在は不可欠となっており、若者に本町に住みたいと思ってもらうことが必要です。令和3（2021）年度に高校生71人を対象にアンケートを実施したところ、70人の回答が得られました（回収率98.6%）。

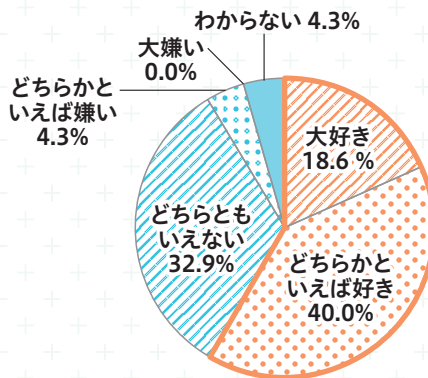
● 本町への愛着

南会津町が『嫌い』

4.3%

嫌いなところ（上位5つ）

- 1位 お店が少なく買い物不便 (52.9%)
- 2位 教養・娯楽施設がない (48.6%)
- 3位 おしゃれなショップがない (42.9%)
- 4位 働く場所が少ない (22.9%)
- 5位 公共交通が利用しにくい (21.4%)



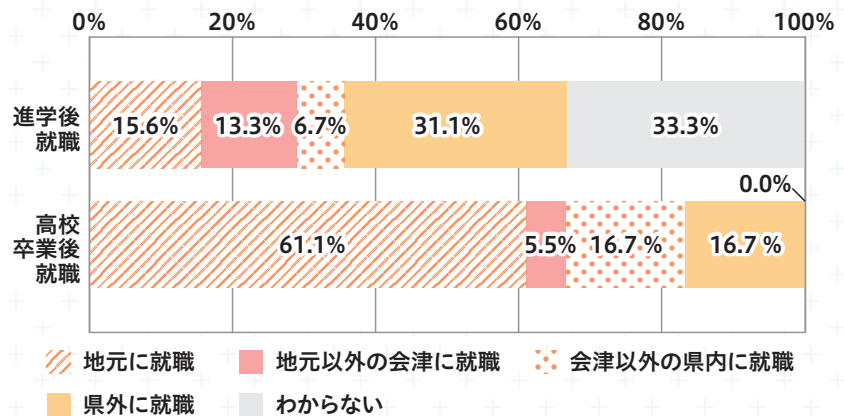
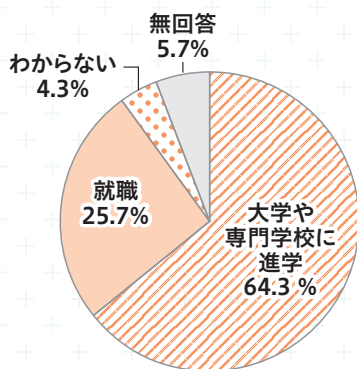
南会津町が『好き』

58.6%

好きなところ（上位5つ）

- 1位 自然が豊富である (55.6%)
- 2位 安心して生活できる (33.3%)
- 3位 のどかな雰囲気 (31.1%)
- 4位 四季折々が楽しめる (24.4%)
- 5位 美しい風景が残っている (13.3%)

● 卒業後の進路と就職先の意向



進学後就職の約16%、高校卒業後の約61%が町内に就職の意向

*高校生アンケート：そのほか結果については資料編80ページ参照。

4. 現状・課題

本町全体にかかる課題



人口減少への対応／生涯にわたる暮らしやすさ／豊かな自然環境の活用／産業の活性化／多分野での担い手の確保・育成／交流人口の拡大

- ▶ 「南会津町人口ビジョン(改訂版)」による将来展望人口では、令和12(2030)年に12,710人の人口規模の維持を目指すものとしており、令和2(2020)年と比較すると10年で約2,000人、年平均約200人が減少すると見込んでいます。人口減少による地域コミュニティ機能の低下など将来の生活に対する不安感が広がっており、町民が将来にわたって安心して暮らせる人口減少社会に的確に対応したまちづくりに取り組む必要があります。
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら地方創生を加速させるべく、社会潮流を捉え、「新しい時代の南会津町らしい暮らしを確立する」ことが重要です。

生活環境分野の課題



地域力の維持／単身高齢者の見守り／地域共生社会／生きがいづくり／医療体制の確保

- ▶ 本町の雄大な自然環境を後世に引き継いでいくことも重要です。地球環境にやさしいまちであるために、全町を挙げて脱炭素社会を進めていくことが必要です。
- ▶ 地域の担い手の高齢化・減少による地域活力の低下が懸念されるほか、高齢者単独世帯や高齢者夫婦のみの世帯の増加をはじめ、地域を構成する町民やその家族形態が大きく多様化しています。誰もが地域で健康で安心して生活できるよう、それぞれの地域に合わせた新しい支え合いのあり方を検討する必要があります。
- ▶ 人口減少、少子高齢化が進んでいく中で、子育て世代の定着が重要です。子どもを産み育てやすい環境づくりを進めることが求められます。
- ▶ 住み慣れた地域で必要な医療サービスを享受できるようにしていくことが求められています。地域の医療体制が将来にわたって維持されるよう、県と連携しながら医療体制の安定確保を進めていく必要があります。
- ▶ 高齢化が進行する中で、予防の段階から健康づくりに取り組むほか、活躍の場や生きがいの場をつくることによって健やかな心身を維持しながら生活することが重要です。

第3節 まちづくりの背景

産業分野の課題



キーワード

好循環／企業間・産官学連携／担い手の育成、確保／PR、知名度向上／
“外貨”の獲得／所得の増加／都市交流／広域連携

- ▶ 農林業と商工業との連携を図るとともに、本町の特色ある農産物や木材の知名度向上を図り、販路拡大に努める必要があります。
- ▶ 地域産業の継続、発展を図るため、後継者の育成、担い手への農地の集積・集約化や持続可能な経営を行う必要があります。
- ▶ 本町の若者が就職する際には、雇用の場を求めて町外へ流出して行くことが多く、今後は若者が働きたいと思える就労の場を作っていく必要があります。
- ▶ 町内産業の活性化に向けて町外から“外貨”を獲得し、町内で循環させることで、町内事業者の所得の増加を図っていく必要があります。
- ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大を契機として、企業が「新しい生活様式」に対応しながら事業活動・経済活動を行うことが求められ、テレワークなどの多様で柔軟な働き方を推進する必要があります。
- ▶ 観光面では、新たに魅力的な観光資源を創出し、効果的な情報発信やPRにより、本町をより活力のあるまちにしていく必要があります。また、友好都市との交流促進や広域連携による近隣市町村との協働を図り、町外交流を促進させていくことも重要となります。

都市基盤分野の課題



キーワード

空き家対策／きれいな水の供給／公共交通の利便性の向上／
移動手段の確保／冬の生活の負担軽減／アクセス性の向上／
インフラの整備・更新／安心して暮らせる基盤づくり

- ▶ 住環境は、増加する空き家の適正管理や、各地域における防災機能の向上など、安心して暮らしやすい住環境を形成する必要があります。
- ▶ 水道・下水道は、本町のきれいな水を供給することができるよう、水の安定供給や事業運営の健全化、汚水処理の普及を推進していくことが求められています。
- ▶ 道路施設の更新や公共交通の利便性の地域差、冬の生活の負担軽減が課題となっており、高齢化社会に備えた公共交通体系の研究など、社会基盤の計画的な整備と更新を進める必要があります。
- ▶ 都市計画道路及び区画道路の整備延伸や、土地区画整理事業が進められていますが、アクセス性向上など、町民ニーズの高まりがみられています。また、会津縦貫南道路や国道289号八十里越などの開通を見据え、中心市街地との連結や商業の活性化を進めていくことも必要です。
- ▶ 生活道路である町道は、日常生活や災害などの緊急時には欠かせないものであることから、機能的で生活に密着した道路の整備に努める必要があります。
- ▶ 今後は、老朽化したインフラの計画的な維持管理・更新に努め、「災害に強く」「利便性が高い」安心して暮らせる基盤づくりを進めていく必要があります。また、高齢化社会に備えた「雪や災害に強い」「コンパクト」な市街地整備も重要な視点であり、将来のまちの姿を見据えた良好な住環境の形成を進める必要があります。

教育分野の課題



キーワード

少子化への対応 / ふるさと愛の醸成 / ICT教育の充実 /
南会津町ならではの教育環境 / 地域の文化・伝統の継承

- ▶ 少子化に伴い児童生徒数と学級数が減少する中、子どもたち一人ひとりの「ふるさと愛」を育み、新しい時代を牽引できる力を身に付けることが重要であり、学校、家庭、地域が連携を深め、より良い教育環境づくり、特色ある学校づくり、青少年の健全育成を進めていく必要があります。
- ▶ より多様な体験活動や子ども同士の交流促進、子どもの居場所づくりを進めていくための機会や場を創出していくことが求められます。
- ▶ 本町の自然を活用した町外との交流など、本町ならではの教育環境の充実を図り、教育の視点から関係人口を生み出していくことも重要です。
- ▶ 地域の文化・伝統の継承や生涯学習活動を推進するためには、後継者の確保や活動への関心を高めることが課題となっています。地域の文化・伝統に触れる機会の充実や生涯学習活動の普及など、学校や地域を通して活動の気運を高め、地域の発展につなげることが必要です。
- ▶ デジタル社会が進む中、学びの質やコミュニケーション能力を深めるため、リテラシー*を培う教育環境の充実を図ることが必要です。

行財政分野の課題



キーワード

自主財源の確保 / 地域ごとの生活機能の維持・充実 /
デジタル化を見据えた行政サービスの充実 / 広域連携

- ▶ 少子高齢化に伴う労働人口の減少、地域経済の縮小に伴う税収の減少などが懸念されており、さらに社会保障費や公共施設の老朽化に伴う維持管理費などの経済負担が増大すると、行政運営は一層厳しいものとなることが想定されます。
- ▶ 効率的な行政組織や体制の整備、地域の実情やニーズを踏まえたサービスの迅速かつ的確な提供など、社会環境の変化に対応した適切な行政経営を進めていくことが必要であり、本町の独自性が求められています。
- ▶ 本町は広大な面積を有しており、地域によって生活機能に差がみられています。町民が安心して生活し続けていくためには、デジタル技術も導入しながら、生活機能を充実させていくことが求められています。

*リテラシー:ある特定分野に関する知識を理解して、活用する能力のこと。

第3節 まちづくりの背景

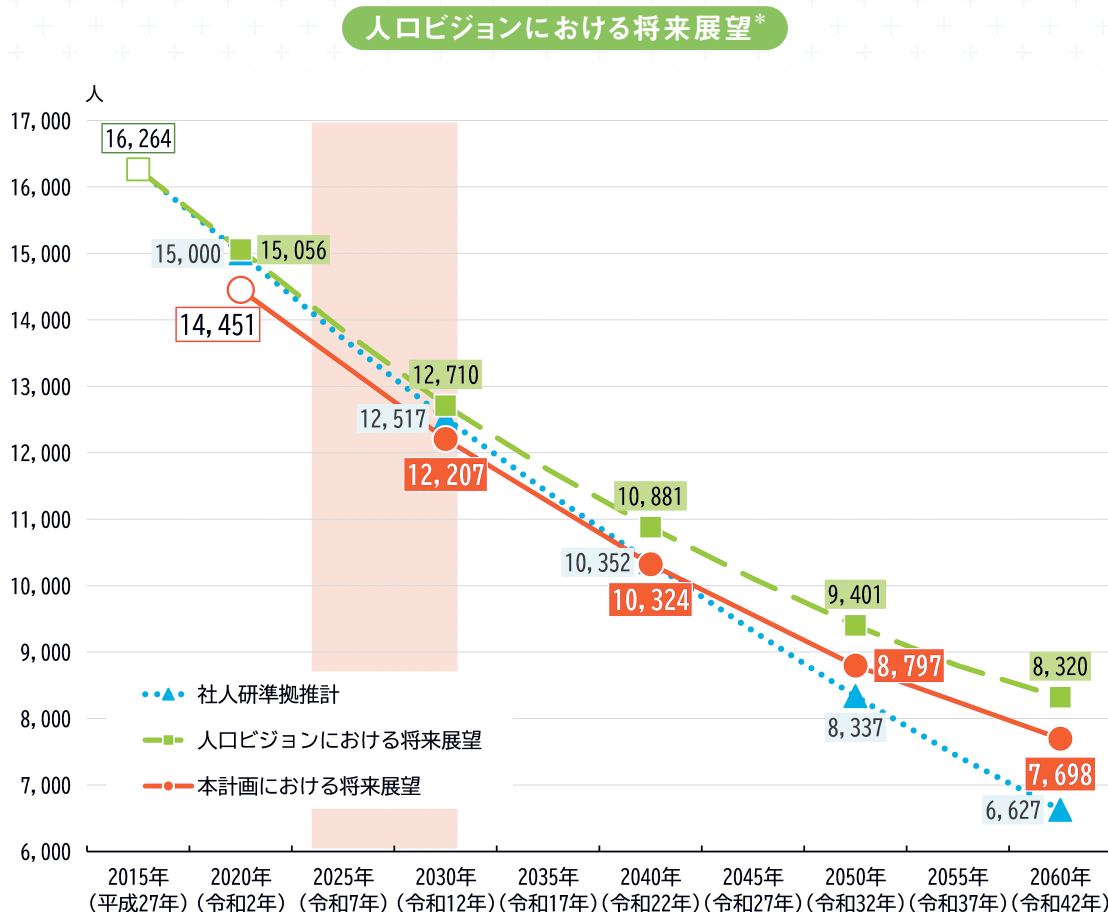
5. 人口フレームなど

(1) 人口フレーム

令和2(2020)年3月に策定した「南会津町人口ビジョン(改訂版)」においては、平成27(2015)年の国勢調査の結果をもとに、令和22(2040)年に約10,300人、令和42(2060)年には約6,600人まで減少すると予想されている人口を、令和22(2040)年に約10,900人、令和42(2060)年に約8,300人を維持することを目標としています。

しかし、令和2年10月に実施された国勢調査では人口が14,451人と人口ビジョンの目標を下回って推移しています。

人口減少を軽減していくためには、引き続き人口ビジョンに掲げた移住定住及び出生数向上に向けた施策を進めていくことが重要です。



資料：南会津町人口ビジョン策定時人口推計をもとに独自に推計

* 社人研準拠推計：人口研究・社会保障研究を行う厚生労働省の機関である国立社会保障・人口問題研究所(社人研)が公表している人口推計の方法に基づいた人口推計。

(2) 財政シミュレーション

本計画の推進を図るため、計画期間における財政シミュレーションを次のとおり示します。これは、本計画の期間中における大枠としての財政見通しを示すもので、実施計画、予算編成等において活用していきます。

なお、財政フレームは、今後の制度改正、経済動向、地方財政計画等を踏まえて、必要に応じて再調整します。

歳入

単位：百万円

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
一般財源計	9,003	9,496	8,753	8,554	8,444	8,335	8,227	8,121	8,017	7,914	7,813
地方税	1,532	1,582	1,577	1,564	1,552	1,539	1,527	1,515	1,503	1,491	1,479
地方交付税	6,337	6,825	6,310	6,140	6,042	5,945	5,850	5,756	5,664	5,574	5,484
普通交付税	5,848	6,093	5,860	5,700	5,654	5,609	5,564	5,520	5,476	5,432	5,388
地方譲与税等	619	689	666	650	650	650	650	650	650	650	650
繰越金	515	400	200	200	200	200	200	200	200	200	200
特定財源	8,282	4,788	3,747	3,895	3,756	3,756	3,756	3,756	3,756	3,756	3,756
国県支出金	4,314	2,683	1,740	1,566	1,566	1,566	1,566	1,566	1,566	1,566	1,566
地方債	2,450	1,514	1,195	1,579	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440
基金繰入金	639	225	534	500	500	500	500	500	500	500	500
その他の特定財源等	879	366	278	250	250	250	250	250	250	250	250
歳入合計	17,285	14,284	12,500	12,449	12,200	12,091	11,983	11,877	11,773	11,670	11,569

歳出

単位：百万円

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
義務的経費計	4,605	4,968	4,772	4,604	4,502	4,460	4,419	4,379	4,339	4,300	4,262
人件費	2,107	2,154	2,189	2,145	2,102	2,060	2,019	1,979	1,939	1,900	1,862
扶助費	952	1,265	898	800	800	800	800	800	800	800	800
公債費	1,546	1,549	1,685	1,659	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
投資的経費	3,574	2,205	1,462	1,477	1,491	1,506	1,521	1,537	1,552	1,567	1,583
その他の経費	8,706	6,695	6,266	6,368	6,206	6,124	6,042	5,962	5,882	5,803	5,723
物件費	1,763	1,916	1,880	1,861	1,843	1,824	1,806	1,788	1,770	1,752	1,735
維持補修費	656	872	683	690	697	704	711	718	725	732	740
補助費等	4,213	2,396	2,493	2,368	2,250	2,137	2,031	1,929	1,833	1,741	1,654
繰出金	1,094	1,071	899	900	900	900	900	900	900	900	900
上記以外(積立金等)	980	440	311	549	517	559	595	627	654	677	695
歳出合計	16,885	13,868	12,500	12,449	12,200	12,091	11,983	11,877	11,773	11,670	11,569

第4節 横断的な視点

1. SDGs

SDGs(持続可能な開発目標)とは、平成27(2015)年9月の国連サミットで採択された令和12(2030)年までに達成すべき国際目標です。地球上の「誰一人取り残さない」ことを理念に17のゴール(目標)で構成されており、世界の国々で取組が進められています。

我が国は平成28(2016)年12月に「SDGs実施指針」を策定し、国、地方自治体、企業、町民による幅広い連携とともに、地方自治体の各種計画への最大限の反映を奨励しています。

SDGs(持続可能な開発目標)17のゴール(出典:外務省)



1. 貧困をなくそう

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。



2. 飢餓をゼロに

飢餓を終わらせ、食糧安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。



3. すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。



4. 質の高い教育をみんなに

すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。



5. ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等などを達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。



6. 安全な水とトイレを世界中に

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。



7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。



8. 働きがいも経済成長も

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する。



9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。



10. 人や国の不平等をなくそう

各国内及び各国間の不平等などを是正する。



11. 住み続けられるまちづくりを

包摂的で安全かつ強靱で持続可能な人間居住を実現する。



12. つくる責任 つかう責任

持続可能な生産消費形態を確保する。



13. 気候変動に具体的な対策を

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。



14. 海の豊かさを守ろう

持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。



15. 陸の豊かさを守ろう

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。



16. 平和と公正をすべての人に

平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。



17. パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。



カラーホイール

17のゴールそれぞれのカラーを一つの輪として表現した、SDGsを象徴するアイコン

2. Society5.0

Society5.0 (ソサエティ 5.0) とは、情報社会 (Society 4.0) に続く、少し先の未来の社会を指します。内閣府では「サイバー空間 (仮想空間) とフィジカル空間 (現実空間) を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会 (Society)」と定義しています。

本町においては、Society5.0の実現を目指すことによって、地域の魅力を最大限にいかし、自立した豊かな地方の姿を実現していくことが重要となります。

このような社会を実現するため、事業者の生産性の向上やビジネスモデル・組織の変革、地域コミュニティの維持、行政サービスのDX*化の推進など、地域課題・社会課題の解決に向けて情報通信技術などの新たな技術の活用に積極的に取り組むこととし、本計画においても、分野横断的に、基本計画に掲げる各施策に位置づけていくものとします。

Society5.0の変遷

Society5.0以前の人間社会の進化は、4段階に分けることができます。

動物を狩っていた「狩猟社会」が「1.0」、田畑を耕すことで安定した食料の確保を実現した「農耕社会」が「2.0」、産業革命により工業が発展した「工業社会」が「3.0」、コンピューターやインターネットが普及した「情報社会」の現代は「4.0」にあたります。

それらがさらに進化した新しい社会が「Society5.0」です。つまり、情報社会から一歩進んだITがもっと生活に溶け込んだ便利な社会と捉えることができます。



* DX : Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション) の略称。進化した情報技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念のこと。例えば行政サービスのDX化が進んだ場合、町民は行政窓口に行かなくても申請手続などを行えることが考えられる。

第4節 まちづくりの背景

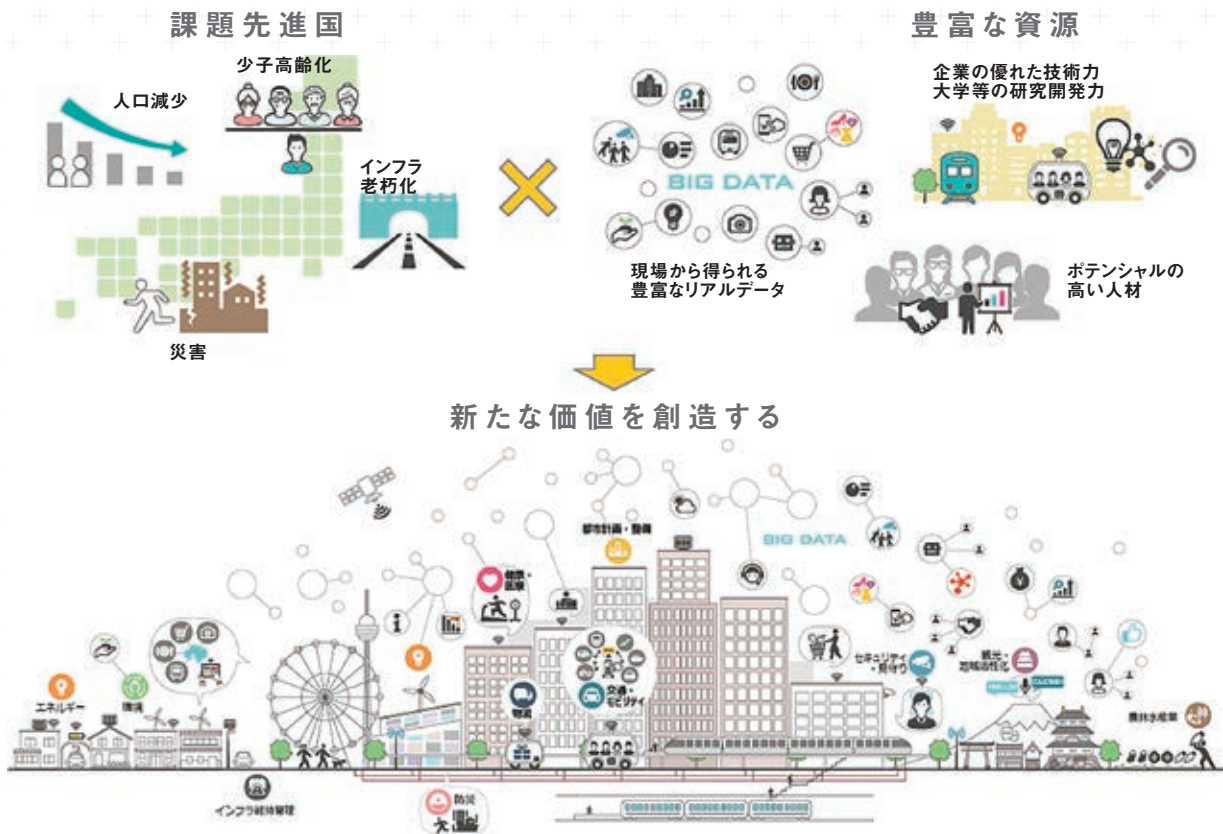
3. 「スマートシティ」を目指して

Society5.0の実現は、SDGsの達成や、スマートシティの実現にもつながります。

スマートシティは、「情報通信技術を活用して生活の質の向上や新たな価値創出による経済循環の促進、社会課題の解決を図る社会」のことをいい、Society5.0の先行的な実現の場と定義されています。

現在、高齢化の急速な進展、東京一極集中と地方の衰退、多発する大規模災害、新たな感染症リスクなど様々な社会課題に直面しており、これらと向き合っていくためには、交通、商業、ビジネス、医療、エネルギー、行政などあらゆる都市機能自体をデジタル化に対応した形に大きく転換していくこと（DX化）が求められています。

スマートシティのイメージ



資料：国土交通省 スマートシティ官民連携プラットフォーム

第2章 基本計画

目標の柱
1 豊かな自然ときれいな水が育む
元気に安心して過ごせるまちづくり

施策
1

豊かな自然と生活環境を守る



川遊び(伊南川)

目指す姿

この施策で目指す
8年間後の姿です。

成果指標

目指す姿を達成する
ために、具体的な達成
度合いを示す指標
です。

関連計画

この施策に関連する
町の計画です。これら
の計画と連携しながら
総合振興計画を進め
ていきます。

目指す姿

- 再生可能エネルギーの活用などによる環境にやさしいまちになっています。
- 町民や企業などの取組(ごみの減量、リサイクル、不法投棄の断絶など)によってきれいなまちになっています。

成果指標

1日1人あたりの ごみ排出量	現状値 [R3]	中間値 [R8]	目標値 [R12]
	1,066 g	1,000 g	935 g

関連計画

- 南会津町環境基本計画
- 南会津町地球温暖化対策実行計画
- 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画[南会津地方環境衛生組合]

該当するSDGs



該当するSDGs

各分野の取組とSDGs(エス・ディー・ジーズ 持続可能な開発目標)の目標との関連性を示しています。

主な取組と個別指標

(1) 持続可能な循環型社会の構築

- ごみの適切な処理による減量化を図ります。
- 5R(Refuse(リフューズ):断る、Reduce(リデュース):発生抑制、Reuse(リユース):再使用、Repair(リペア):修理、Recycle(リサイクル):再生利用)を推進し、リサイクル率の向上を図ります。
- 不法投棄監視体制の強化と地域と連携したパトロールを実施します。



(2) 地球温暖化対策

- 再生可能エネルギーの導入を推進します。
- CO2吸収源となる森林の整備を進めます。
- 環境基本計画に基づき、CO2の削減に努め、カーボンニュートラルの実現を目指します。



(3) 自然環境保護・継承

- 豊かな自然を守るために、環境教育などを実施し、自然環境の保護意識の高揚に努め、貴重な財産を後世に継承します。
- 生態系へ被害を及ぼす恐れのある特定外来生物などの継続的な監視と被害防止対策に努めます。



(4) 生活環境保全

- 河川水質や大気・土壌など汚染の未然防止のため、典型7公害の監視に努めます。
- 生活用水として親しまれている湧水や井戸水を安心して利用できるように、水質調査を行い、水質の保全に努めます。
- 放射能による町民の健康への影響や土壌汚染などの不安を解消し、安全・安心な生活環境確保のため、水質や土壌、空間線量のモニタリング調査を継続して実施します。



🤝 わたしたちにできること

- 家庭ごみの発生を少なくし、正しい分別とリサイクルに努めます。
- こまめな消灯など、日常生活での省エネを意識した行動を習慣にします。
- 特定外来生物の駆除作業に協力します。



第2章

豊かな自然ときれいな水が育む元気に安心して過ご

主な取組

この施策にかかる具体的な取組をまとめたものです。

個別指標

主な取組の成果を測るための主な目標になります。

わたしたちにできること

目指す姿の達成のために町民一人ひとりが日常の中で取り組めることを記載しています。

施策
1

豊かな自然と生活環境を守る



川遊び (伊南川)

目指す姿

- 再生可能エネルギーの活用などによる環境にやさしいまちになっています。
- 町民や企業などの取組（ごみの減量、リサイクル、不法投棄の断絶など）によってきれいなまちになっています。

成果指標



関連計画

- 南会津町環境基本計画
- 南会津町地球温暖化対策実行計画
- 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 [南会津地方環境衛生組合]

該当するSDGs



主な取組と個別指標

(1) 持続可能な循環型社会の構築

- ごみの適切な処理による減量化を図ります。
- 5R(Refuse(リフューズ):断る、Reduce(リデュース):発生抑制、Reuse(リユース):再使用、Repair(リペア):修理、Recycle(リサイクル):再生利用)を推進し、リサイクル率の向上を図ります。
- 不法投棄監視体制の強化と地域と連携したパトロールを実施します。

ゴミのリサイクル率



(2) 地球温暖化対策

- 再生可能エネルギーの導入を推進します。
- CO₂吸収源となる森林の整備を進めます。
- 環境基本計画に基づき、CO₂の削減に努め、カーボンニュートラルの実現を目指します。

太陽光蓄電システム補助件数(累計)



(3) 自然環境保護・継承

- 豊かな自然を守るために、環境教育などを実施し、自然環境の保護意識の高揚に努め、貴重な財産を後世に継承します。
- 生態系へ被害を及ぼす恐れのある特定外来生物などの継続的な監視と被害防止対策に努めます。

環境学習の回数



(4) 生活環境保全

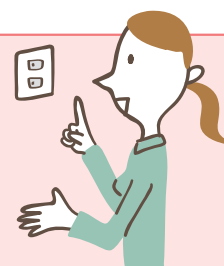
- 河川水質や大気・土壌など汚染の未然防止のため、典型7公害の監視に努めます。
- 生活用水として親しまれている湧水や井戸水を安心して利用できるように、水質調査を行い、水質の保全に努めます。
- 放射能による町民の健康への影響や土壌汚染などの不安を解消し、安全・安心な生活環境確保のため、水質や土壌、空間線量のモニタリング調査を継続して実施します。

環境基準(河川)及び水質基準(湧水)達成割合



わたしたちにできること

- 家庭ごみの発生を少なくし、正しい分別とリサイクルに努めます。
- こまめな消灯など、日常生活での省エネを意識した行動を習慣にします。
- 特定外来生物の駆除作業に協力します。



施策
2

健康づくり・医療の充実



健康教室

目指す姿

- 医療体制の整備が図られ、安心できる地域医療があるまちになっています。
- 運動による健康づくりを行い、病気の予防に努め、医療費の削減につながっています。

成果指標

南会津病院の常勤医師
による診療可能科目数

現状値 [R3]

4 科目

中間値 [R8]

5 科目

目標値 [R12]

6 科目

関連計画

- 南会津町高齢者福祉計画・介護保険事業計画

該当するSDGs



主な取組と個別指標

(1) 医療体制の充実

- 地域で安心して医療を受けることができるよう、南会津病院を中心とした、医療体制の充実を図ります。

南会津病院以外の医療機関の数



(2) 重症化予防事業の充実

- 生涯健康であることができるよう、ライフステージの特性を踏まえた情報発信や生活習慣を見直すための健康診査などにより、健康づくりに対する意識の醸成を図ります。

特定健診受診率(国保)



特定健診受診率(後期)



(3) 介護予防の充実

- 高齢者が自身の生活の充実や介護予防につなげられるよう、社会参加ができる場の拡充を図るとともに、活動意欲の向上と健康づくりの支援を行います。

介護認定率



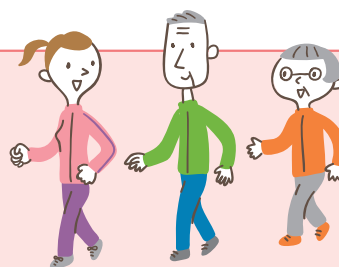
南会津病院



新型コロナワクチン集団接種

🤝 わたしたちにできること

- 一人ひとりが健康を意識し、適度な運動と正しい食生活に努めます。
- 適切に健康診断を受け、病気の予防や早期発見、早期治療に努めます。



施策
3

高齢者や障がい者にやさしい福祉



老人ホームで敬老会

目指す姿

- ひとり暮らしでも孤立しない、世代を超えた交流が生まれています。
- 高齢者や障がい者に対する福祉サービスが充実し、誰もが生きがいをもち明るく健康に過ごせるまちになっています。

成果指標

	現状値 [R3]	中間値 [R8]	目標値 [R12]
障がい者交流事業 参加者数	未実施	120人	150人
高齢者生きがい活動 通所者数	717人	700人	680人

関連計画

- 南会津町地域福祉計画
- 南会津町障がい福祉計画・障がい児福祉計画
- 南会津町障がい者計画

該当するSDGs



主な取り組みと個別指標

(1) 誰もが住みやすく生きがいをもてる暮らしづくり

- すべての町民が、地域のなかで自ら望む暮らしを継続できるよう、関係機関と連携して生活支援を行います。

障がい者作業所通所者数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
46人	50人	60人

シルバー人材センター登録者数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
146人	166人	186人

(2) 地域福祉の充実

- 地域の多様な主体（町民）が抱える様々な困り事や生活課題を、協働・連携して解決していく体制の構築を進めます。

障がい福祉利用相談者数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
118人	120人	150人

民生委員相談件数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
1,985件	1,800件	1,600件

(3) 明るい社会づくりへの取組

- 誰もが安心して暮らすことができるよう、介護、障がい、子ども、困窮などの相談支援を充実するとともに、必要な支援につないでいきます。

生活困窮者自立支援の相談件数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
27件	15件	10件



高校生除雪ボランティア

わたしたちにできること

- 一人ひとりが共助の精神を育みます。



施策
4

結婚・子育て支援の充実



保育所運動会

目指す姿

- 誰もが子育てしやすい環境が整い、安心して出産や子育てができるまちになっています。

成果指標



関連計画

- 子ども・子育て支援事業計画

該当するSDGs



主な取組と個別指標

(1) 仕事と子育てを両立しやすい支援づくり

- 仕事と子育ての両立を実現するため、地域の子育て拠点、小学校との連携等を強化することによって、多様な子育て支援サービスを充実させ、子育て世代のニーズに応じた保育サービスや放課後の子どもたちの居場所づくりに努めます。

保育所など利用率

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
70.1%	77.0%	78.0%

学童保育利用者数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
164人	175人	190人

(2) 地域で支えあう子育て環境づくり

- 安心して子どもを産み育てられるよう、関係機関との連携により、妊娠期から出産、子育て期と切れ目のない包括的な子育て支援を行います。
- 支援・配慮が必要な子どもと家庭に対する体制を強化します。

子育て支援センター延べ利用者数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
2,537人	3,000人	3,600人

(3) 結婚支援の推進

- 加速度的に進んでいる人口減少対策として、出逢いの場を創出するとともに、結婚を後押しする機運を醸成します。

結婚支援イベント参加者数 (R3からの累計)

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
0人	200人	400人

※R3は新型コロナウイルスの影響により未実施

縁結びサポーター相談登録者数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
14件	24件	32件



子育て支援センター



学童保育

🤝 わたしたちにできること

- 愛情をもって子どもを育てます。
- 地域ぐるみで子どもたちを見守り、積極的に交流します。



施策
5

地域特性をいかした 農林業の推進



農業に従事する若者

目指す姿

- 農林産物の知名度が上がり、農業の収入や林業の生産額が向上しています。

成果指標

農業収入平均額	現状値 [R3]	中間値 [R8]	目標値 [R12]
	303万円	315万円	330万円
林業総生産額	現状値 [R3]	中間値 [R8]	目標値 [R12]
	381百万円	390百万円	400百万円

関連計画

- 農業農村振興計画
- 森林整備計画
- 農業振興地域整備計画
- 農村振興基本計画

該当するSDGs



主な取組と個別指標

(1) 担い手の確保・育成

- 専・兼業農家の家族経営をはじめ、集落営農や法人化、企業の農業参入について、情報提供と支援を行い、多様な担い手を確保・育成します。
- 林業を志す人が就業しやすい環境を整備するとともに、安全衛生や資格取得にかかる支援を行い、林業従事者を確保・育成します。

新規就農者数 (R3からの累計)

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
5人	15人	23人

林産業事業体数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
27 経営体	29 経営体	31 経営体

(2) 生産基盤の保全と整備

- 生産性の向上に向け、ほ場整備及び農道や用排水路といった基盤整備を推進し、優良農地の保全と耕作放棄地の抑制に努めます。
- 農地中間管理事業を活用し、意欲の高い担い手へ農地の集積を進めます。
- 地域ぐるみの総合的な鳥獣被害対策により、農林業被害の軽減を図ります。
- 高性能林業機械の導入を推進し、施業の集約化や素材生産能力を向上させ素材の供給拡大を図ります。
- 林道の整備を推進し、森林の適正な整備・保全を図り、安定した林業経営の確保に努めます。

担い手の農地利用集積率

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
57.5%	65.0%	80.0%

木材生産量

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
38,463m ³	40,000m ³	43,000m ³

(3) 付加価値の高い農林業の推進

- 地理的特性をいかした高品質な農産物を生産し、消費者に提供していきます。
- 地域資源を活用した農産物の生産を目指します。
- 優良広葉樹や製品の加工技術を広く発信し、地域材の有効利用を図ります。

GAP取組経営体数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
8 経営体 2 団体	13 経営体 3 団体	18 経営体 4 団体

広葉樹材供給ステーション取引件数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
0 件	10 件	20 件



わたしたちにできること

- 地区の農地維持作業などの共同作業にみんなで取り組みます。
- 野菜や木材など地元産を消費します。



施策
6

商工業の再生



南会津町商業協同組合によるイベント

目指す姿

- 経営を支援する体制が整備され、若い起業家や事業承継者が増えています。
- 魅力ある商店に町内外から多くの利用者が訪れ、まちなかがにぎわっています。

成果指標



関連計画

- 田島地域中心市街地まちなか再生計画

該当するSDGs



主な取組と個別指標

(1) 事業者連携による商工業の活性化

- 事業者連携を促し、それぞれの強みをいかすことで、新たな価値が生まれ、商工業が発展します。
- 異なる業種の事業者が連携することにより、より魅力ある商業を行います。
- 商工会などと連携して、商工業者の経営の安定化を支援し、商工業の振興を図ります。

商工会会員数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
658人	655人	650人

(2) 創業・事業承継への支援の充実

- 創業がしやすい環境の整備を図るとともに、事業発展促進に向けて創業の段階に応じた支援を行います。
- 創業や事業承継、経営相談などの企業への支援を行います。

創業(事業承継)数 (R3からの累計)

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
3件	10件	18件

(3) 人が集うまちづくり

- 町内イベントや連携事業の補助などによる支援を通して、事業者間の積極的な交流を促し、魅力的でにぎわいのあるまちづくりを推進します。
- 会津田島駅周辺の中心市街地区域内の空き店舗、空き家、未利用の土地などの有効活用を図り、まちなかのにぎわい創出を目指します。

中心市街地にぎわいづくりイベント実施数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
2件	10件	15件



町内事業者連携によるイベント



商工会パソコン教室

🤝 わたしたちにできること

- 積極的に地元の店舗を利用します。
- まちの資源を利用した商品づくりに協力します。



施策
7

観光・地域間交流のさらなる推進



前沢曲家集落

目指す姿

- 本町の地域資源（自然・歴史・文化）をいかした、新たな観光商品を目的とした観光客が増えています。
- 地域間交流が積極的に行われ、まちを好きになる機会が増えています。

成果指標



関連計画

- 南郷地域観光振興計画「ひめさゆり物語」

該当するSDGs



主な取組と個別指標

(1) 観光資源の見直しと磨き上げ

- 本町にしかないものを求めてくる観光客の需要や特性を捉え、星空など町全域に広がる資源を活用し、様々な観光商品の創出や魅力向上を図り、町内の消費拡大を目指します。
- 多様な情報媒体を効果的に活用し、まちの魅力を積極的に発信します。

観光消費額



(2) 継続的な交流の推進

- 教育旅行の誘致や各種ツーリズムの推進、友好都市などとの交流を通して、交流人口の拡大を図ります。

都市交流人口数



(3) 観光に関する設備などの充実

- 観光業に従事する人材の育成、交通手段の整備、観光施設などの障害の除去や受入環境の整備を行い、観光客の利便性を向上させ、快適に観光ができるまちとして観光客の増加を図ります。

主要宿泊施設の再訪率



南会津新そばまつり



星空観賞

わたしたちにできること

- 地元のよさを発見して周囲の人に発信します。
- 「おもてなし」の心をもって来町者をお迎えします。



施策
8

誰もが輝いて働くことができる 就労環境



合同企業説明会

目指す姿

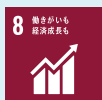
- 若者・障がい者・高齢者みんなが多様な職種・働き方を選択し、生きがいと安心感をもって働いています。
- 地域性をいかした多様な働き方ができる環境が整備されています。

成果指標

給与所得・営業所得・ 農業所得者数	現状値 [R3]	中間値 [R8]	目標値 [R12]
	5,288人	5,050人	4,820人
法人町民税納税義務者 件数	現状値 [R3]	中間値 [R8]	目標値 [R12]
	606件	620件	635件

関連計画

該当するSDGs



主な取組と個別指標

(1) 時代の変化に対応した企業支援

- 企業ニーズの把握に努めながら、町で実施する支援制度の活用や制度融資など各種支援策の情報提供などにより、企業の経営基盤の強化・安定化に向けた支援を進めます。

事業者支援補助件数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
32件	42件	50件

(2) 地域産業を支える人材育成の推進

- 町内の高校や県内の大学などと連携を取りながら、若者たちの郷土愛を育み、地域に貢献する人材の育成を支援します。また、地元企業が求める人材を確保するための支援を進めます。
- 国・県などが実施する人材育成・能力開発の受講や資格取得にかかる支援を行います。
- U・Iターン者における地域産業への就労を促進するための支援を行います。

新規高卒者(町内高校)就業者数 (R3からの累計)

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
13人	80人	120人

(3) 地域特性をいかした企業誘致や働き方の推進

- テレワークなどを契機に地方へ拠点を移す企業のニーズを捉え、多様な働き方に対応できる環境を整えます。
- 広大な土地と豊かな自然、災害が少ないという地域の強みをいかした企業誘致を進めます。
- 地域性をいかした、多様な働き方を支援します。

テレワーク利用者数 (R3からの累計)

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
170人	600人	800人

企業誘致件数 (R3からの累計)

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
0件	1件	2件



職場体験



わたしたちにできること

- 労働者が働きやすい環境づくりを心掛けます。
- 仕事に必要な能力向上に努めます。



施策
9

良好な居住環境の整備



中心市街地全景

目指す姿

- 町民との合意形成による道路の整備や良好な土地利用が図られています。

成果指標

町道の舗装打替え路線数

現状値 [R3]

0 路線

中間値 [R8]

8 路線

目標値 [R12]

16 路線

関連計画

- 南会津町都市計画マスタープラン
- 南会津町空家等対策計画
- 南会津町景観計画

該当するSDGs



主な取組と個別指標

(1) 都市的機能の充実

- 田島地域を中心に多様な都市機能を集約し、利便性を高めます。
- 幹線道路の整備を推進し、各地域のつながりを強化します。
- 地上デジタルテレビ放送を全ての住民が視聴できる環境を整備します。

土地区画整理事業の進捗率



(2) 高齢者向け住宅の整備

- 集落の人口減少などによる高齢者の孤立化を防ぐため、住環境の良さをいかした高齢者向け住宅の整備を進めます。

高齢者向け住宅の整備戸数



(3) 空き家の有効活用

- 多様な住環境のニーズに対応するため、空き家の利活用を進めます。
- 空き家バンク制度により、空き家の情報を積極的に発信します。

空き家バンクの成約件数(R3からの累計)



大新田1号線(南郷橋)



高齢者向け住宅イメージ図

わたしたちにできること

- 常に、最適な住環境の整備を心がけます。
- 互いに助け合い、協力しながら生活します。



施策
10

持続可能な上下水道



田島第1水源地

目指す姿

- 水道施設、水源の維持管理が適正に行われ、安定的な水道水が供給され、効率的な水道事業の経営が行われています。
- 下水道計画区域内の管路整備、処理施設の適正な維持管理が進んでおり、計画的かつ安定的な下水道事業の経営が行われています。

成果指標

上水道（有収率）	現状値 [R3]	中間値 [R8]	目標値 [R12]
	71.1%	72.0%	72.5%
下水道（水洗化率）	現状値 [R3]	中間値 [R8]	目標値 [R12]
	79.2%	79.5%	80.0%

関連計画

- 南会津町水道事業アセットマネジメント計画
- 公共下水道事業整備計画

該当するSDGs

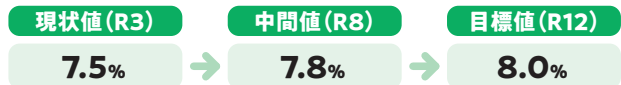


主な取組と個別指標

(1)安全安心な水資源の確保

- 安全な水を安定的に供給し、計画的な老朽管の更新を行い、水資源の有効活用に努めます。

上水道耐震化率



(2)生活排水対策の充実

- 豊かな自然環境である河川などの水質汚染を防ぎ、安全で快適な生活を実現するために下水道の整備を進めるとともに水洗化の促進を図ります。

下水道接続率



安全安心な水道水



滝原水源地



田島都市環境センター

わたしたちにできること

- 水道・下水道料金をきちんと納めます。
- 異物(油や生ごみなど)を流さないよう、生活排水に注意します。



施策
11

町民みんなにやさしい交通



デマンドタクシー

目指す姿

- 公共交通の利便性が向上し、町民みんなが移動しやすいまちになっています。

成果指標



関連計画

- 南会津町地域公共交通網形成計画
- 南会津町地域公共交通再編実施計画

該当するSDGs



主な取組と個別指標

(1) 利用しやすい交通網の整備

- デマンド交通など移動ニーズに対応した新たな交通体系を強化します。
- わかりやすい利用方法の情報発信に努め、利用向上を図ります。

デマンドタクシーエリア数

現状値(R3)

中間値(R8)

目標値(R12)

5か所

8か所

10か所

(2) マイカーにたよることなく移動できる環境づくり

- 免許を持たない高齢者、年少者、障がい者など交通弱者のだれもがマイカーにたよることなく移動できます。

運転免許証の自主返納者数

現状値(R3)

中間値(R8)

目標値(R12)

61人

60人

60人

(3) 広域交通機関の維持・充実

- 広域的な通勤、通学、通院、買い物及び観光による移動を確保するため、その維持・充実を図ります。

鉄道利用者数

現状値(R3)

中間値(R8)

目標値(R12)

515,935人

820,000人

830,000人



お座トロ展望列車試乗会



会津鉄道



特急リバティ会津運行5周年イベント

🤝 わたしたちにできること

- 安全・安心な公共交通を利用します。
- 公共交通の便利な使い方をみんなで学びます。



施策
12

災害・犯罪への備え



防災訓練

目指す姿

- 自主防災・防犯組織の活性化により自助・共助力が高まっています。

成果指標

災害時避難計画策定件数

現状値 [R3]

54件

中間値 [R8]

65件

目標値 [R12]

72件

関連計画

- 南会津町自主防災計画 (ハザードマップ)
- 南会津町地域防災計画

該当するSDGs



主な取組と個別指標

(1) 自主防災組織の強化

- 地域に根ざした防災活動の主体となる自主防災組織や消防団員（先遣隊）の定員確保などにより、各地域における防災力を強化します。
- 防災研修や避難訓練などを通して、地域防災力の強化を図ります。

自主防災組織数



(2) 防犯団体の充実

- 「自分の身は自分で守る」を基本に警察署や関係機関と連携しながら、啓発活動や講習会の開催などを通し、町民の防犯・交通安全に対する意識を高めるために、活動の充実を図ります。

防犯団体の活動件数



(3) 情報ツールの活用

- 災害時や国民保護事案の発生時に危険を知らせるため、戸別受信機の設置を促します。

戸別受信機の設置普及率



(4) 備蓄品の確保

- 災害時の備えとして、備蓄品を確保し、定期的な入れ替えなどにより、しっかりと管理します。

備蓄品(食品)備蓄数



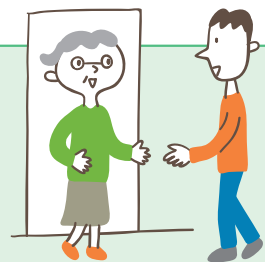
防火パレード



水防訓練

わたしたちにできること

- ご近所同士で声をかけ合いながら、安全・安心なまちづくりを目指します。
- 犯罪や詐欺に巻き込まれないように日頃から正しい知識の習得に努めます。
- 家庭でも備蓄品の用意を心がけます。



施策
13

学ぶ力を育てる学校教育の推進



総合学習（奥会津博物館見学）

目指す姿

- 目標をもって自ら学び、まちを愛する心豊かな子どもが育まれています。

成果指標

	現状値 [R3]	中間値 [R8]	目標値 [R12]
まち（自分の住む地域）をもっと よくしたいと思う小学生の割合	71.9%	75.0%	80.0%
まち（自分の住む地域）をもっと よくしたいと思う中学生の割合	61.9%	63.0%	65.0%

関連計画

該当するSDGs



主な取組と個別指標

(1) 学力と主体性の向上

- 主体的・対話的で深い学びを一層充実させ、社会性を育みながら他者と共に生涯にわたり能動的に学び続ける力や、チャレンジする力を養います。
- 一人ひとりが協調性を身につけながら互いを尊重し、よりよく生きるために自ら進んで行動できる力を養います。

目標をもって勉強や運動に取り組んでいる小学生の割合



目標をもって勉強や運動に取り組んでいる中学生の割合



(2) 体験と交流を通じた郷土愛の醸成

- 地域の人材や特性をいかし、まちの自然・地理・歴史・文化・先人などを「知る・楽しむ・育む」ことのできる独自の教育課程や青少年健全育成などに取り組めます。
- 五感を大切にしたい幼児教育の充実と、小学校との連携に努めます。

まちが好きな小学生の割合



まちが好きな中学生の割合



(3) 安心して学べる教育環境の充実

- 子どもたちがより安全・安心に教育を受けられるよう、学校施設の長寿命化に努めるとともに、ICTの活用などにより、一人ひとりが活躍できる環境をつくれます。

学校に行くのが楽しい小学生の割合



学校に行くのが楽しい中学生の割合



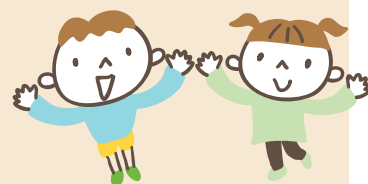
小学校運動会



ICT教育

🤝 わたしたちにできること

- 確かな学力を持ち、まちを愛する心豊かな子どもを育てます。
- 子どもたちに自分の特技を教えます。
- みんなが先生となって、地域ぐるみで子どもたちを育てます。



施策
14

生涯を通じた学びの場の提供



公民館事業（木工教室）

目指す姿

- 世代を超えた共育のまちづくりが進み、一人ひとりが生き生きとした生活を送るまちになっています。

成果指標

公民館等利用者数	現状値 [R3]	中間値 [R8]	目標値 [R12]
	2,754人	3,000人	3,200人

関連計画

該当するSDGs



主な取組と個別指標

(1)生涯学習の充実

- 多様な学習要求に応える学習機会の充実を図ります。
- 地域と学校との協働で、体験活動の充実を図ることで将来的に地域や社会を担う人材を育成します。
- 図書館機能の充実と本に親しむ環境づくりに努めます。

公民館講座の参加者数

現状値(R3)	中間値(R8)	目標値(R12)
2,754人	→ 3,000人	→ 3,500人

図書館の利用者数

現状値(R3)	中間値(R8)	目標値(R12)
22,129人	→ 25,000人	→ 28,000人

(2)生涯スポーツの発展

- 生涯スポーツの普及と運動習慣を定着するために、目的に応じた活動に対して支援できる体制を検討・構築します。
- 各種研修を通じた指導者などの育成と資質向上を図り、スポーツ活動の推進を図ります。

町のスポーツイベントの開催状況

現状値(R3)	中間値(R8)	目標値(R12)
19回	→ 30回	→ 35回

(3)家庭教育力の向上

- 家庭はすべての教育の出発点であることから、子どもたちが家族とのふれあいを通して育ち、学べるよう学校教育と連携した家庭教育の充実に取り組みます。
- 家庭教育のサポートとして、放課後子ども教室の充実を図ります。

家庭教育講座の参加状況

現状値(R3)	中間値(R8)	目標値(R12)
345人	→ 500人	→ 500人



南会津町図書館



ゴーマン杯

🤝 わたしたちにできること

- 公民館・図書館を利用します。
- 気軽にスポーツを楽しみます。



施策
15

南会津の宝をまもり、つなぐ



田島祇園祭屋台歌舞伎

目指す姿

- 郷土の歴史や風土を知り、継承することでまちの文化が息づいています。

成果指標

文化財指定登録数	現状値 [R3]	→	中間値 [R8]	→	目標値 [R12]
	137件		139件		140件
奥会津博物館入館者数	現状値 [R3]	→	中間値 [R8]	→	目標値 [R12]
	3,251人		5,000人		8,000人

関連計画

- 前沢伝統的建造物群保存地区保存計画

該当するSDGs



主な取組と個別指標

(1) 伝統文化の継承

- 地域の理解と絆を深め、次の世代へ確実に文化が伝承されるよう、個々の状況に応じて抱える課題への支援を進めます。

無形民俗文化財の団体数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
13団体	→ 13団体	→ 13団体

(2) 文化財の保護

- 町内の指定文化財を適切に保護するための調査・巡回を行い、個々の状況に応じた管理、活用、保存修理など、所有者と協議しながら文化財の保護・保存を図ります。

指定文化財の調査・巡回件数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
10件	→ 15件	→ 20件

(3) 南会津文化の価値の再発見

- 地域の文化が身近なものとなるよう、博物館での企画展開催や展示公開を行い、多くの人が文化に触れる機会を創出します。
- 文化ホールを活用した公演などを開催し、様々な文化に興味を持ち携わる人が増えるように機会を創出します。

博物館での企画展及び体験事業の回数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
4回	→ 5回	→ 5回

文化ホールでの自主事業(イベント)の開催数

現状値 (R3)	中間値 (R8)	目標値 (R12)
5回	→ 6回	→ 6回



藍染体験



田島祇園祭のおとうや行事



駒止湿原

わたしたちにできること

- 地域の史跡を訪ねます。
- 歴史や文化を知り、南会津愛を育みます。



施策
16

デジタル化の推進



スマホ教室

目指す姿

- あらゆる場面でデジタル化を進めることにより、業務の効率化や利便性に優れた住民サービスが提供されています。

成果指標

ネットワーク申請（ぴったりサービス）*活用事務数

現状値 [R3]

0件

中間値 [R8]

35件

目標値 [R12]

51件

関連計画

- 南会津町デジタル変革（DX）基本計画
- 第4次南会津町行政改革大綱

該当するSDGs



*ネットワーク申請（ぴったりサービス）：行政手続のオンライン窓口であるマイナポータルにおいて、子育てや介護などのほか、さまざまな分野の手続のオンライン申請に活用できるシステム。

主な取組と個別指標

(1) 住民サービスのデジタル化

- 住民サービスのデジタル化・オンライン化を推進し、来庁しなくても手続可能な環境を整備していきます。
- 住民のデジタル利用対策を推進し、より多くの住民がデジタル化による恩恵を享受できる機会をつくります。
- デジタル化の推進と紙媒体の使い分けを進め、情報発信の適正化を図ることで、世代を問わず、すべての人がまちの情報に触れやすいしくみをつくります。

マイナンバーカードの普及率



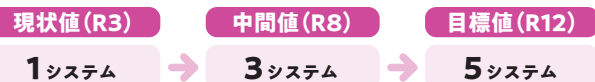
登録制LINE・メールサービス利用者数



(2) 行政のデジタル化

- 行政事務の迅速化と簡素化を図るため、費用対効果を見極めたうえで、デジタル技術を活用していきます。
- ペーパーレスの推進を図ります。

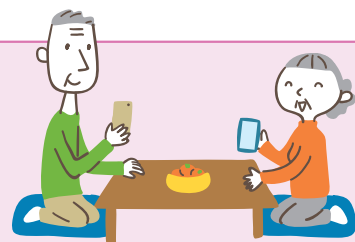
電子決裁システム数



マイナポイント申請窓口

わたしたちにできること

- マイナンバーカードをつくります。
- スマートフォンを持ちます。



施策
17

地域コミュニティの充実

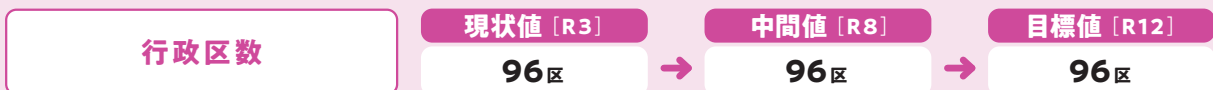


伊南豊年まつり

目指す姿

- 町民一人ひとりが主体的に活動し、集落機能の維持と地域力が向上しています。

成果指標



関連計画

- 新町まちづくり計画

該当するSDGs



主な取組と個別指標

(1) 集落機能の充実

- 集落が主体となった活動や、集落担当職員のサポートにより活気を取り戻し、集落機能を維持していきます。

集落応援交付金の申請区数



(2) 活動団体への支援

- より多くの町民がコミュニティ活動に参加し、主体的に地域の課題解決に取り組むことができるよう、活動団体、NPO法人への支援や人材育成を推進します。

コミュニティセンター*利用人数



*御蔵入交流館、館岩会館、伊南会館、南郷総合センター

(3) 広域連携の強化

- 関係人口の増加を目指すため、近隣地域や関係団体との役割分担と連携の強化を図ります。

ふるさとサポーターの登録者数



花いっぱい運動



歳の神

わたしたちにできること

- 集落の活動に積極的に参加します。



施策
18

住民参加のまちづくり、 行政と町民協働のまちづくり



動く町長室

目指す姿

- 町民・議会・行政が、互いの役割を認識し、協働のまちづくりを進める意識の高揚が図られています。

成果指標



関連計画

- 議会基本条例
- からふるプラン(南会津町男女共同参画計画)

該当するSDGs

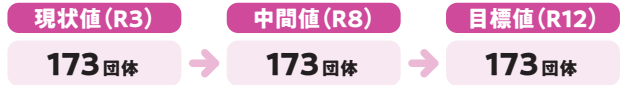


主な取組と個別指標

(1) 住民が主役のまちづくり

- 各集落、町民活動団体、教育機関、事業者などと町との協働及び各種団体間の協働の取組を推進します。

町民活動団体数



(2) 行政への住民参画支援

- 町民協働が効果的・効率的に行えるよう、環境の整備を図ります。
- 社会情勢の変化に柔軟に対応するため、新たな協働の手法などを研究・活用します。

人財育成支援事業参加者数(累計)



(3) 町民意見の聴取

- 町民の意見を広く聴取するとともに、町民が取り組む事業に必要なに応じて行政を参加させることで、協働のまちづくりを推進します。

議会報告会開催回数 (R3からの累計)



振興計画策定部会ワークショップ



人財育成支援事業 (SDGs研修)

わたしたちにできること

- 行政や地域の情報に目を向け積極的に参画します。



施策
19

効率的・効果的な行財政運営



南会津町役場本庁舎

目指す姿

○ 効率的な行財政運営により安定的な行政サービスが提供されています。

成果指標



関連計画

- 新町まちづくり計画
- 南会津町公共施設等総合管理計画
- 南会津町人材育成基本方針
- 南会津町過疎地域持続的発展計画
- 第4次南会津町行政改革大綱
- 南会津町町税・使用料等滞納者対策方針

該当するSDGs



主な取組と個別指標

(1) 行政サービスの充実

- 限られた財源の中、多様化する町民ニーズや事務の高度化、複雑化、増大に迅速かつ的確に対応できる組織づくりや職員の育成を進めます。

職員研修の参加率



(2) 健全な財政運営

- 将来にわたり安定した行政サービスを提供するため、財政の健全化に着実かつ積極的に取り組めます。
- 町税、水道料、各種使用料などの収納率の向上に努めます。

町税の徴収率(現年度分)



(3) 公共施設の適切な管理

- 南会津町公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の適正な管理を行います。

公共施設の総延べ床面積



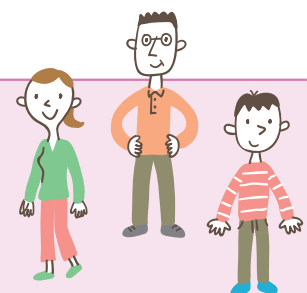
予算査定



職員研修

わたしたちにできること

- 税金や公共料金をきちんと納めます。



資料編

1. 計画の策定経過

年月日	実施内容	年月日	実施内容
令和3年7月16日 ～8月20日	総合振興計画策定部会員推薦 依頼及び公募	令和4年6月24日	第3回 総合振興計画編成会議
令和3年8月25日	第1回 総合振興計画策定委員会	令和4年6月30日	課長会議（施策体系・構成の確定）
令和3年8月25日 ～9月8日	町民アンケートの実施	令和4年7月1日	第4回 総合振興計画編成会議
令和3年9月6日	第1回 総合振興計画策定部会	令和4年7月14日	第5回 総合振興計画編成会議
令和3年9月28日	ファシリテーター研修	令和4年7月20日	第6回 総合振興計画編成会議
令和3年10月7日	第1回 総合振興計画策定部会 ワークショップ	令和4年8月4日	第7回 総合振興計画編成会議
令和3年10月20日	第1回 総合振興計画審議会	令和4年8月26日	第8回 総合振興計画編成会議
令和3年10月26日	第2回 総合振興計画策定部会 ワークショップ	令和4年8月31日	第1回 総合振興計画策定委員会
令和3年11月9日	第3回 総合振興計画策定部会 ワークショップ	令和4年9月28日	第9回 総合振興計画編成会議
令和3年11月25日	第4回 総合振興計画策定部会 ワークショップ	令和4年10月7日	第1回 総合振興計画審議会
令和3年12月21日	田島地域協議会	令和4年11月24日	田島地域協議会
令和3年12月22日	伊南地域協議会	令和4年11月30日	第2回 総合振興計画策定委員会、 南会津町議会総務委員会
令和4年1月7日	第2回 総合振興計画策定部会	令和4年12月9日	南会津町議会全員協議会
令和4年1月26日	第2回 総合振興計画審議会	令和4年12月19日	館岩地域協議会、南郷地域協議会
令和4年2月15日	南会津町議会総務委員会	令和4年12月20日	第2回 総合振興計画審議会
令和4年2月16日	第2回 総合振興計画策定委員会	令和4年12月21日	伊南地域協議会
令和4年3月25日	館岩地域協議会、南郷地域協議会	令和4年12月16日	パブリックコメント開始
令和4年5月2日	課長会議（施策体系案の確認）	令和5年1月16日	パブリックコメント終了
令和4年6月2日	田島地域協議会、伊南地域協議会	令和5年2月16日	第3回 総合振興計画策定委員会
令和4年6月3日	第1回 総合振興計画編成会議	令和5年2月17日	第3回 総合振興計画審議会
令和4年6月10日	第2回 総合振興計画編成会議	令和5年2月28日	南会津町議会全員協議会
令和4年6月14日	課長会議（これまでの経過、基本 計画構成案について）	令和5年3月16日	令和5年第1回南会津町議会 定例会に提案し可決

2. アンケート調査結果（町民）

※各選択肢の数値は%、回答及び属性の「不明・無回答」は非表示

■南会津町の住みやすさ

属性	区分	回答者	住みやすい	どちらかといえば 住みやすい	どちらかといえば 住みにくい	住みにくい	わからない
	全体	388	22.2	45.6	21.1	7.7	2.3
性別	男性	159	21.3	45.1	22.6	9.1	1.8
	女性	160	21.1	46.0	23.0	6.2	3.7
年齢別	30歳未満	43	11.4	43.2	29.5	9.1	6.8
	30歳代	56	17.2	41.4	22.4	19.0	0.0
	40歳代	48	24.0	56.0	14.0	4.0	2.0
	50歳代	58	23.7	40.7	18.6	11.9	5.1
	60歳代	85	15.3	51.8	28.2	3.5	1.2
	70歳代	86	36.4	43.2	15.9	3.4	1.1
出生地別	南会津町	275	23.0	46.1	22.3	6.4	2.1
	県内	58	19.0	55.2	15.5	8.6	1.7
	県外	41	23.8	33.3	21.4	16.7	4.8
居住地域別	田島地域	206	23.0	48.3	18.7	7.7	2.4
	館岩地域	49	26.9	42.3	17.3	9.6	3.8
	伊南地域	52	15.1	49.1	26.4	7.5	1.9
	南郷地域	66	22.4	40.3	29.9	7.5	0.0

■南会津町に住み続けたいか

属性	区分	全体	南会津町に 住み続けたい	県内の他の市町村に 移りたい	県外に移りたい	わからない
	全体	388	59.8	7.0	9.8	21.9
性別	男性	159	64.8	7.4	9.3	18.5
	女性	160	53.4	6.8	10.6	29.2
年齢別	30歳未満	43	39.5	11.6	11.6	37.2
	30歳代	56	38.6	15.8	12.3	33.3
	40歳代	48	52.0	2.0	8.0	38.0
	50歳代	58	59.3	6.8	13.6	20.3
	60歳代	85	67.4	7.0	8.1	17.4
	70歳代	86	85.1	2.3	8.0	4.6
出生地別	南会津町	275	65.1	5.3	7.8	21.7
	県内	58	50.9	15.8	7.0	26.3
	県外	41	45.2	7.1	28.6	19.0
居住地域別	田島地域	206	64.9	5.3	9.6	20.2
	館岩地域	49	53.8	11.5	13.5	21.2
	伊南地域	52	53.7	13.0	7.4	25.9
	南郷地域	66	58.5	4.6	10.8	26.2

■南会津町への愛着

属性	区分	回答者	とても愛着を感じている	やや愛着を感じている	あまり愛着を感じていない	まったく愛着を感じていない	どちらともいえない
	全体	388	30.2	44.6	12.6	2.1	8.8
性別	男性	159	32.1	43.8	14.2	1.9	8.0
	女性	160	28.6	49.1	11.2	1.9	9.3
年齢別	30歳未満	43	45.5	38.6	9.1	0.0	6.8
	30歳代	56	21.1	49.1	14.0	5.3	10.5
	40歳代	48	26.0	54.0	14.0	0.0	6.0
	50歳代	58	25.9	37.9	19.0	3.4	13.8
	60歳代	85	32.1	42.9	16.7	1.2	7.1
	70歳代	86	34.1	48.9	5.7	2.3	9.1
出生地別	南会津町	275	33.1	43.8	12.5	0.7	10.0
	県内	58	25.0	51.8	12.5	3.6	7.1
	県外	41	21.4	47.6	16.7	9.5	4.8
居住地域別	田島地域	206	27.1	47.3	13.5	1.4	10.6
	館岩地域	49	46.0	42.0	8.0	2.0	2.0
	伊南地域	52	25.9	51.9	11.1	3.7	7.4
	南郷地域	66	35.8	35.8	16.4	3.0	9.0

■南会津町の住みやすさを感じるころ

属性	区分	回答者	自然が豊かである	道路や下水道などが整備されている	買い物便利である	人々の情が厚い	郷土芸能や伝統文化がある	交通の便が良い	福祉・医療サービスが良い	教育機関が整っている	老後も安心して生活ができる
	全体	388	77.3	11.3	7.5	32.2	9.0	2.8	4.6	1.3	5.4
性別	男性	159	83.0	11.3	5.7	36.5	10.1	3.8	3.1	1.3	1.9
	女性	158	81.0	10.8	5.7	31.0	10.8	1.3	5.1	1.3	5.7
年齢別	30歳未満	44	79.5	15.9	4.5	31.8	18.2	2.3	6.8	2.3	0.0
	30歳代	55	85.5	9.1	1.8	25.5	12.7	1.8	1.8	1.8	3.6
	40歳代	49	77.6	2.0	4.1	34.7	8.2	8.2	4.1	2.0	2.0
	50歳代	54	75.9	11.1	11.1	37.0	9.3	0.0	0.0	1.9	0.0
	60歳代	85	83.5	10.6	9.4	32.9	8.2	3.5	4.7	1.2	8.2
	70歳代	88	77.3	18.2	11.4	36.4	4.5	2.3	9.1	0.0	12.5
出生地別	南会津町	277	78.7	12.3	6.9	34.3	7.9	2.9	5.4	1.4	6.5
	県内	56	80.4	3.6	12.5	30.4	10.7	5.4	1.8	1.8	5.4
	県外	40	90.0	15.0	7.5	32.5	17.5	0.0	2.5	0.0	0.0
居住地域別	田島地域	202	76.2	9.4	13.9	27.7	10.9	5.0	4.5	1.5	6.9
	館岩地域	51	94.1	11.8	0.0	45.1	5.9	0.0	7.8	0.0	3.9
	伊南地域	54	90.7	7.4	0.0	44.4	5.6	0.0	3.7	1.9	5.6
	南郷地域	65	72.3	23.1	1.5	32.3	9.2	1.5	4.6	1.5	3.1
属性	区分	回答者	除雪支援が充実している	町民の声がかまきりに活かされている	災害や公害が少ない	娯楽やレジャー施設が充実している	食の安全が確保されている	子育て支援が充実している	働く場所が整っている	イベントが多い	その他
	全体	388	16.5	1.0	50.8	0.3	9.0	4.4	0.8	0.3	3.9
性別	男性	159	17.6	83.0	11.3	5.7	36.5	10.1	3.8	3.1	1.3
	女性	158	18.4	81.0	10.8	5.7	31.0	10.8	1.3	5.1	1.3
年齢別	30歳未満	44	22.7	79.5	15.9	4.5	31.8	18.2	2.3	6.8	2.3
	30歳代	55	14.5	85.5	9.1	1.8	25.5	12.7	1.8	1.8	1.8
	40歳代	49	22.4	77.6	2.0	4.1	34.7	8.2	8.2	4.1	2.0
	50歳代	54	11.1	75.9	11.1	11.1	37.0	9.3	0.0	0.0	1.9
	60歳代	85	11.8	83.5	10.6	9.4	32.9	8.2	3.5	4.7	1.2
	70歳代	88	21.6	77.3	18.2	11.4	36.4	4.5	2.3	9.1	0.0
出生地別	南会津町	277	16.6	78.7	12.3	6.9	34.3	7.9	2.9	5.4	1.4
	県内	56	25.0	80.4	3.6	12.5	30.4	10.7	5.4	1.8	1.8
	県外	40	10.0	90.0	15.0	7.5	32.5	17.5	0.0	2.5	0.0
居住地域別	田島地域	202	13.4	76.2	9.4	13.9	27.7	10.9	5.0	4.5	1.5
	館岩地域	51	17.6	94.1	11.8	0.0	45.1	5.9	0.0	7.8	0.0
	伊南地域	54	18.5	90.7	7.4	0.0	44.4	5.6	0.0	3.7	1.9
	南郷地域	65	26.2	72.3	23.1	1.5	32.3	9.2	1.5	4.6	1.5

■南会津町の不便や不満に感じるどころ

属性	区分	回答者	年々、自然が失われつつある	道路や下水道などの基盤整備が遅れている	買い物が大変である	人情味がない	郷土芸能や伝統文化が廃れつつある	交通の便が悪い	福祉・医療サービスが充実していない	高等教育機関(大学など)が整っていない	老後の生活が不安である
	全体	388	4.9	6.7	40.7	2.8	4.4	29.6	16.8	10.1	30.7
性別	男性	159	5.7	8.2	40.3	2.5	3.8	25.2	18.9	10.1	29.6
	女性	158	3.8	5.7	46.2	3.8	3.8	39.9	17.1	12.0	31.0
年齢別	30歳未満	44	4.7	2.3	58.1	2.3	4.7	39.5	14.0	11.6	7.0
	30歳代	55	3.7	3.7	44.4	3.7	5.6	22.2	25.9	16.7	24.1
	40歳代	49	2.0	6.1	49.0	0.0	0.0	30.6	26.5	24.5	18.4
	50歳代	54	3.5	8.8	40.4	7.0	3.5	29.8	15.8	5.3	33.3
	60歳代	85	7.3	13.4	31.7	3.7	2.4	34.1	17.1	4.9	41.5
	70歳代	88	6.7	4.5	40.4	1.1	9.0	29.2	10.1	6.7	46.1
出生地別	南会津町	277	6.2	7.6	39.6	2.2	5.8	30.5	16.4	10.5	33.8
	県内	56	0.0	1.8	49.1	3.5	0.0	38.6	22.8	10.5	24.6
	県外	40	5.0	10.0	50.0	7.5	2.5	20.0	17.5	10.0	30.0
居住地別	田島地域	202	5.0	8.4	27.7	3.5	4.5	25.2	20.3	14.4	36.1
	館岩地域	51	4.1	2.0	63.3	0.0	6.1	32.7	14.3	4.1	32.7
	伊南地域	54	0.0	9.3	64.8	1.9	1.9	46.3	14.8	7.4	24.1
	南郷地域	65	9.1	3.0	53.0	4.5	6.1	31.8	13.6	6.1	21.2
属性	区分	回答者	冬期間の生活が大変である	町民の声がまちづくりに活かされていない	災害が多い	娯楽やレジャー施設が少ない	食の安全が確保されていない	子育て支援が充実していない	魅力ある働く場所がない(少ない)	魅力あるイベントがない(少ない)	その他
	全体	388	57.2	8.0	0.0	12.9	0.0	5.7	29.6	3.9	5.2
性別	男性	159	56.0	9.4	0.0	13.2	0.0	5.7	35.8	5.7	5.7
	女性	158	58.2	6.3	0.0	13.9	0.0	6.3	22.8	3.2	6.3
年齢別	30歳未満	44	44.2	4.7	0.0	32.6	0.0	4.7	32.6	4.7	4.7
	30歳代	55	48.1	1.9	0.0	20.4	0.0	22.2	29.6	5.6	5.6
	40歳代	49	53.1	8.2	0.0	12.2	0.0	4.1	30.6	0.0	10.2
	50歳代	54	52.6	10.5	0.0	10.5	0.0	3.5	36.8	7.0	10.5
	60歳代	85	67.1	8.5	0.0	6.1	0.0	3.7	34.1	3.7	3.7
	70歳代	88	74.2	12.4	0.0	9.0	0.0	1.1	23.6	3.4	1.1
出生地別	南会津町	277	60.4	8.7	0.0	12.0	0.0	5.5	31.3	5.5	4.0
	県内	56	56.1	7.0	0.0	17.5	0.0	8.8	31.6	0.0	7.0
	県外	40	57.5	7.5	0.0	17.5	0.0	5.0	27.5	0.0	10.0
居住地別	田島地域	202	58.9	9.9	0.0	17.8	0.0	6.4	36.1	5.0	2.5
	館岩地域	51	69.4	8.2	0.0	6.1	0.0	4.1	36.7	6.1	0.0
	伊南地域	54	64.8	3.7	0.0	5.6	0.0	3.7	16.7	0.0	9.3
	南郷地域	65	51.5	7.6	0.0	12.1	0.0	7.6	21.2	3.0	15.2

■現在の町政やまちづくり全般の満足度

属性	区分	回答者	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	どちらともいえない
	全体	388	4.6	28.9	24.2	11.3	27.8
性別	男性	159	5.0	26.4	29.6	12.6	26.4
	女性	160	4.4	30.6	23.1	11.9	30.0
年齢別	30歳未満	43	0.0	34.9	25.6	9.3	30.2
	30歳代	56	0.0	12.5	32.1	17.9	37.5
	40歳代	48	4.2	35.4	16.7	10.4	33.3
	50歳代	58	8.6	27.6	36.2	13.8	13.8
	60歳代	85	3.5	24.7	27.1	11.8	32.9
	70歳代	86	9.3	41.9	15.1	8.1	25.6
出生地別	南会津町	275	5.1	28.4	25.8	11.3	29.5
	県内	58	1.7	37.9	22.4	10.3	27.6
	県外	41	4.9	26.8	24.4	17.1	26.8
居住地別	田島地域	206	4.4	30.6	23.8	12.1	29.1
	館岩地域	49	4.1	24.5	22.4	8.2	40.8
	伊南地域	52	7.7	26.9	38.5	3.8	23.1
	南郷地域	66	4.5	33.3	21.2	18.2	22.7

■各施策の満足度

No.	施策名	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
1	自然環境の保全と自然資源の高度利用	3.4	9.0	50.3	11.1	6.2
2	環境衛生対策の充実	3.6	13.4	55.7	8.8	3.6
3	生活排水対策の充実	4.9	12.9	49.5	12.1	5.9
4	安全で安心な道路の整備促進	3.1	13.4	43.8	21.6	10.3
5	計画的な土地利用の推進	1.0	4.1	46.4	17.8	8.8
6	水道施設の計画的な整備と安全安心な水資源の確保	7.0	12.6	57.0	4.9	4.4
7	高度情報化社会への対応	1.3	3.6	44.8	18.8	10.8
8	町民との協働による景観づくりの推進	1.8	4.1	50.8	15.2	8.0
9	多様なニーズに対応した住宅政策の展開	0.8	3.9	51.3	11.1	10.3
10	克雪・利雪・親雪の推進と充実	2.6	12.4	46.9	15.2	8.5
11	挑戦を応援する環境づくり	0.5	3.1	54.1	12.1	4.1
12	地域の特性をいかした産業の育成	2.1	7.2	46.4	18.3	8.0
13	安心して働ける環境づくり	0.5	5.2	38.7	24.0	18.8
14	農業分野での挑戦	1.5	5.2	55.2	9.8	5.9
15	林業分野での挑戦	1.3	3.1	51.3	12.9	4.9
16	商工業分野での挑戦	0.5	3.1	48.7	18.0	4.9
17	観光業分野での挑戦	1.0	4.6	45.6	19.8	10.6
18	各種産業間の連携による6次産業の確立	0.3	1.3	46.4	13.9	4.9
19	地域間交流の推進	0.0	2.8	59.3	11.3	4.4
20	安心できる地域医療の充実	2.1	4.6	26.3	30.9	27.1
21	病気の重症化予防と医療費等の削減	1.0	5.4	45.6	19.6	13.4
22	健康づくりに役立つ食生活と運動の推進	1.0	4.1	67.0	9.0	3.1
23	自主的な健康づくりの推進	1.3	4.9	68.6	6.2	2.8
24	みんなで支え合う子育て環境づくり	0.8	6.4	53.4	13.7	4.9
25	高齢者社会への対応	0.5	6.2	47.9	19.3	11.1
26	障がい者福祉の充実	0.0	3.9	55.7	13.1	4.4
27	みんなで支え合う地域福祉の充実	0.5	5.7	57.5	12.4	4.4
28	出合いの機会の充実	0.5	1.8	50.5	12.6	8.5
29	利便性の高い公共交通の確立	0.5	2.6	39.9	23.5	21.9
30	犯罪や災害から地域を守る体制づくりと消費者の安全確保	2.1	3.6	63.9	8.8	4.4
31	東日本大震災からの復興と安全・安心のまちづくり	2.3	5.7	66.0	5.2	2.8
32	教育環境の整備充実	0.8	3.6	53.9	14.4	9.8
33	充実した生涯学習社会の確立	0.3	2.8	64.4	8.2	3.6
34	芸術文化の振興	0.5	2.1	62.4	8.0	4.1
35	健全な子どもを育てる家庭教育の充実	0.8	3.1	59.0	10.3	4.1
36	生涯スポーツライフの確立	1.0	2.1	67.8	5.4	2.6
37	国際交流の推進	0.3	1.5	53.6	7.7	3.1
38	貴重な自然遺産と文化の保存・伝承	2.1	7.7	59.8	9.3	2.8
39	地域コミュニティ活動の推進	0.5	4.9	66.0	6.7	1.3
40	男女共同参画社会の形成	0.3	1.8	61.6	7.5	3.4
41	協働によるまちづくり	0.8	1.8	61.9	8.8	1.8
42	集落支援の充実	0.5	5.7	52.8	14.9	6.4
43	移住定住の促進と定住者支援の充実	0.8	4.1	49.2	15.7	6.4
44	効率的・効果的な行財政運営	0.5	2.1	45.1	14.7	10.6
45	行政評価による進行管理	0.3	1.3	49.2	10.6	7.0
46	行政情報の共有による透明性の確保	0.3	2.3	52.8	12.4	8.5
47	質の高い行政サービスの確保	0.5	2.8	54.1	14.9	9.8

■各施策の優先度

No.	施策名	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
1	自然環境の保全と自然資源の高度利用	13.9	22.4	40.7	3.4	1.3
2	環境衛生対策の充実	8.0	24.0	48.7	2.3	1.0
3	生活排水対策の充実	11.6	18.8	50.5	1.5	1.5
4	安全で安心な道路の整備促進	16.8	33.0	36.3	1.0	2.1
5	計画的な土地利用の推進	9.3	22.9	42.0	2.3	2.6
6	水道施設の計画的な整備と安全安心な水資源の確保	10.3	16.8	53.9	1.8	2.1
7	高度情報化社会への対応	14.7	26.0	37.9	2.6	1.5
8	町民との協働による景観づくりの推進	5.9	19.8	47.2	4.4	3.6
9	多様なニーズに対応した住宅政策の展開	9.5	17.3	46.9	2.6	2.6
10	克雪・利雪・親雪の推進と充実	17.3	27.3	36.1	3.6	0.8
11	挑戦を応援する環境づくり	7.0	26.5	39.9	1.8	1.0
12	地域の特性をいかした産業の育成	16.0	28.6	35.6	2.3	0.8
13	安心して働ける環境づくり	27.6	30.9	26.8	1.5	0.3
14	農業分野での挑戦	12.9	21.9	42.5	1.8	0.3
15	林業分野での挑戦	9.8	20.4	42.5	2.1	1.3
16	商工業分野での挑戦	8.0	25.8	41.2	1.0	0.3
17	観光業分野での挑戦	12.6	31.2	34.0	2.3	1.5
18	各種産業間の連携による6次産業の確立	7.7	22.4	37.1	1.3	0.8
19	地域間交流の推進	4.4	17.5	52.1	3.6	2.8
20	安心できる地域医療の充実	48.7	24.5	14.7	0.5	0.5
21	病気の重症化予防と医療費等の削減	27.6	29.4	27.3	1.0	1.0
22	健康づくりに役立つ食生活と運動の推進	7.5	20.6	53.4	2.6	1.3
23	自主的な健康づくりの推進	8.8	17.5	55.2	2.8	0.5
24	みんなで支え合う子育て環境づくり	18.3	26.0	37.4	0.3	0.8
25	高齢者社会への対応	23.5	30.9	30.9	1.5	0.8
26	障がい者福祉の充実	12.4	27.8	41.0	0.8	0.5
27	みんなで支え合う地域福祉の充実	11.6	27.1	42.3	1.0	0.0
28	出合いの機会の充実	8.8	20.4	42.3	2.8	3.4
29	利便性の高い公共交通の確立	23.5	32.0	30.7	1.5	1.0
30	犯罪や災害から地域を守る体制づくりと消費者の安全確保	13.1	21.1	48.5	1.5	0.5
31	東日本大震災からの復興と安全・安心のまちづくり	7.7	14.4	58.0	2.6	2.6
32	教育環境の整備充実	18.3	27.8	37.4	0.8	0.5
33	充実した生涯学習社会の確立	5.2	16.0	57.7	2.6	1.3
34	芸術文化の振興	4.1	12.4	56.2	3.9	3.1
35	健全な子どもを育てる家庭教育の充実	11.6	23.7	46.1	0.3	0.5
36	生涯スポーツライフの確立	3.9	12.4	59.5	2.3	1.8
37	国際交流の推進	3.4	11.1	49.0	4.4	4.6
38	貴重な自然遺産と文化の保存・伝承	7.2	20.9	52.1	1.8	1.5
39	地域コミュニティ活動の推進	2.6	14.7	58.0	3.9	1.3
40	男女共同参画社会の形成	3.9	12.9	56.4	1.8	1.5
41	協働によるまちづくり	4.6	14.4	55.4	1.5	0.8
42	集落支援の充実	8.5	29.9	44.8	1.8	0.3
43	移住定住の促進と定住者支援の充実	13.1	23.5	38.9	1.8	2.3
44	効率的・効果的な行財政運営	15.2	23.2	36.6	0.8	0.8
45	行政評価による進行管理	9.5	15.5	45.6	0.8	0.3
46	行政情報の共有による透明性の確保	10.8	23.5	42.8	1.5	0.5
47	質の高い行政サービスの確保	14.2	29.1	38.9	0.8	0.8

■南会津町がどんなまちになれば良いと思うか

属性	区分	回答者	緑あふれる環境保全型のまち	活気に満ちた農業に支えられたまち	商工業(企業活動)が盛んなまち	地域性を活かしたものづくりの盛んなまち	高齢時代を前向きに迎えるまち	障がいを持った人などにやさしいまち	若者が定着する魅力あるまち	男女が協働して責任を分担するまち
	全体	388	15.2	18.6	17.3	15.2	30.2	12.4	63.7	6.7
性別	男性	157	19.7	25.5	20.4	16.6	25.5	11.5	69.4	7.0
	女性	152	13.8	13.2	15.1	18.4	35.5	13.8	68.4	9.2
年齢別	30歳未満	43	23.3	14.0	9.3	11.6	14.0	20.9	62.8	16.3
	30歳代	56	14.3	14.3	19.6	17.9	12.5	16.1	62.5	8.9
	40歳代	46	19.6	19.6	28.3	15.2	30.4	8.7	63.0	8.7
	50歳代	55	9.1	14.5	20.0	21.8	36.4	25.5	70.9	5.5
	60歳代	82	15.9	24.4	20.7	18.3	41.5	7.3	75.6	3.7
	70歳代	79	17.7	26.6	13.9	12.7	45.6	7.6	69.6	5.1
出生地別	南会津町	263	15.2	21.3	18.6	15.6	33.5	14.1	70.3	6.1
	県内	56	17.9	12.5	17.9	12.5	33.9	16.1	62.5	12.5
	県外	41	19.5	22.0	19.5	24.4	24.4	4.9	65.9	7.3
居住地別	田島地域	195	16.9	16.4	23.1	12.3	32.3	15.9	67.2	8.2
	館岩地域	50	12.0	24.0	10.0	22.0	26.0	8.0	74.0	10.0
	伊南地域	50	16.0	30.0	2.0	24.0	40.0	12.0	70.0	0.0
	南郷地域	64	18.8	20.3	25.0	18.8	31.3	7.8	67.2	7.8
属性	区分	回答者	子どもが生き生きとすごせるまち	自然や歴史的な文化を活かした観光のまち	文化財や遺跡、風土を活かした滞在型観光のまち	スポーツの盛んなまち	生涯学習の盛んなまち	イベントなどの盛んなまち	人間関係の豊かなまち	その他
	全体	388	36.3	11.1	7.5	3.4	1.8	3.6	17.5	2.1
性別	男性	157	37.6	10.8	8.3	5.1	1.3	3.2	17.8	2.5
	女性	152	45.4	12.5	8.6	2.6	0.7	4.6	17.8	2.6
年齢別	30歳未満	43	46.5	23.3	11.6	9.3	0.0	9.3	11.6	0.0
	30歳代	56	62.5	10.7	8.9	3.6	1.8	5.4	16.1	8.9
	40歳代	46	50.0	4.3	10.9	4.3	2.2	0.0	13.0	2.2
	50歳代	55	27.3	9.1	7.3	0.0	0.0	5.5	21.8	0.0
	60歳代	82	32.9	8.5	8.5	1.2	2.4	3.7	17.1	2.4
	70歳代	79	26.6	16.5	3.8	5.1	3.8	1.3	27.8	0.0
出生地別	南会津町	263	36.5	10.6	7.2	3.0	1.9	3.8	21.3	1.5
	県内	56	53.6	14.3	8.9	5.4	1.8	3.6	16.1	3.6
	県外	41	34.1	17.1	12.2	4.9	2.4	4.9	7.3	4.9
居住地別	田島地域	195	40.0	10.3	8.2	5.6	3.1	5.6	17.9	2.6
	館岩地域	50	32.0	22.0	14.0	2.0	0.0	0.0	24.0	0.0
	伊南地域	50	46.0	12.0	6.0	0.0	0.0	0.0	20.0	2.0
	南郷地域	64	37.5	9.4	4.7	1.6	1.6	4.7	17.2	3.1

■行政サービスの水準と町民の負担とのバランス

属性	区分	回答者	行政サービスを充実 するためには、町民の 負担が増えてもやむを 得ない	行政サービスを維持 するためには、町民の 負担が多少増えても やむを得ない	行政サービスは低下 しても、町民の負担は 増やすべきでない	その他
	全体	388	10.3	40.7	20.4	14.2
性別	男性	144	13.9	45.8	23.6	16.7
	女性	140	12.9	47.9	22.9	16.4
年齢別	30歳未満	42	11.9	57.1	19.0	11.9
	30歳代	55	16.4	47.3	18.2	18.2
	40歳代	41	17.1	39.0	19.5	24.4
	50歳代	53	11.3	34.0	24.5	30.2
	60歳代	69	8.7	46.4	31.9	13.0
	70歳代	72	9.7	58.3	25.0	6.9
出生地別	南会津町	239	10.9	49.0	25.1	15.1
	県内	55	12.7	47.3	18.2	21.8
	県外	37	18.9	40.5	24.3	16.2
居住地域別	田島地域	179	10.6	48.6	24.6	16.2
	館岩地域	42	16.7	52.4	21.4	9.5
	伊南地域	49	12.2	46.9	28.6	12.2
	南郷地域	60	11.7	43.3	18.3	26.7

■行政の効率化や財政の健全化のために必要なこと

属性	区分	回答者	町が実施 する公共 事業や行 政サービ スの見直 しや縮小	町の助成 金・補助金 などの減 額や廃止	公共施設 の統廃合	公共施設 の使用料 の見直し	民間の能 力・技術の 活用や仕 事の外部 委託	職員数削 減による 人件費の 抑制	町の施策 や事業を 評価・検証 するシス テムの構 築	その他
	全体	388	28.4	5.7	23.7	9.5	31.4	24.2	26.5	5.4
性別	男性	149	30.9	6.7	32.2	10.1	36.2	24.8	32.2	6.7
	女性	140	35.0	6.4	23.6	12.1	38.6	30.0	27.1	5.7
年齢別	30歳未満	39	48.7	2.6	15.4	12.8	41.0	17.9	28.2	5.1
	30歳代	53	34.0	5.7	17.0	15.1	43.4	30.2	17.0	9.4
	40歳代	46	34.8	2.2	23.9	10.9	37.0	26.1	32.6	10.9
	50歳代	54	29.6	9.3	24.1	13.0	31.5	24.1	29.6	9.3
	60歳代	76	34.2	5.3	34.2	6.6	32.9	28.9	35.5	2.6
	70歳代	70	21.4	11.4	38.6	10.0	34.3	34.3	35.7	2.9
出生地別	南会津町	245	31.0	5.7	30.2	11.0	33.1	28.2	30.6	6.5
	県内	54	35.2	9.3	25.9	11.1	40.7	35.2	18.5	5.6
	県外	38	36.8	7.9	10.5	10.5	50.0	15.8	47.4	5.3
居住地域別	田島地域	181	31.5	6.1	32.0	9.4	34.8	34.3	29.8	3.3
	館岩地域	46	43.5	8.7	26.1	8.7	34.8	26.1	34.8	0.0
	伊南地域	51	29.4	7.8	23.5	17.6	35.3	29.4	25.5	9.8
	南郷地域	58	29.3	5.2	17.2	8.6	43.1	8.6	32.8	17.2

3. アンケート調査結果（高校生）

■南会津町の好きなおところ

選択肢	割合 (%)
自然が豊富である	55.6
美しい風景が残っている	13.3
農産物が豊富である	8.9
四季折々を楽しめる	24.4
安心して生活できる	33.3
のどかな雰囲気である	31.1
良好で温かい人間関係	10.0
郷土芸能や伝統文化がある	4.4
スキー場が近い	8.9
特になし	2.2
その他	0.0

■南会津町の最も好きなおところ

選択肢	割合 (%)
自然が豊富である	36.2
美しい風景が残っている	3.4
農産物が豊富である	0.0
四季折々を楽しめる	5.2
安心して生活できる	27.6
のどかな雰囲気である	13.8
良好で温かい人間関係	5.2
郷土芸能や伝統文化がある	3.4
スキー場が近い	1.7
特になし	3.4

■南会津町の嫌いなおところ

選択肢	割合 (%)
教養・娯楽施設がない	48.6
お店が少なく買い物が不便	52.9
働く場所があまりない	22.9
濃密な人付き合い	1.4
冬期間の生活が大変	15.7
おしゃれなショップがない	42.9
学習環境がよくない	7.1
公共交通が利用しにくい	21.4
高齢者が多く若者が少ない	17.1
特になし	8.6
その他	2.9

■南会津町の最も嫌いなおところ

選択肢	割合 (%)
教養・娯楽施設がない	26.3
お店が少なく買い物が不便	29.8
働く場所があまりない	1.8
濃密な人付き合い	0.0
冬期間の生活が大変	19.3
おしゃれなショップがない	3.0
学習環境がよくない	8.8
公共交通が利用しにくい	5.3
高齢者が多く若者が少ない	3.5
特になし	1.8

■南会津町が好きか

選択肢	割合 (%)
大好き	18.6
どちらかといえば好き	40.0
どちらともいえない	32.9
どちらかといえば嫌い	4.3
大嫌い	0.0
わからない	4.3

■高校卒業後の進路

選択肢	割合 (%)
大学や専門学校等に進学	64.3
地元で就職	15.7
地元以外の会津で就職	1.4
会津以外の県内に就職	4.3
わからない	4.3
県外に就職	4.3
無回答	5.7

■大学等卒業後の進路

選択肢	割合 (%)
地元で就職	15.6
地元以外の会津で就職	13.3
会津以外の県内に就職	6.7
県外に就職	31.1
わからない	33.3

■地元就職する理由

選択肢	割合 (%)
地元が好き	50.0
地元で働きたい場所がある	44.4
家業に従事する	5.6
家の跡継ぎ	11.1
家族等に残るように言われる	16.7
都会の生活に魅力を感じない	5.6
お金をかけずに生活できる	38.9
地域に貢献したい	38.9
その他	11.1

■地元以外に就職する理由

選択肢	割合 (%)
地元が好き	50.0
働く場所・働きたい場所がない	66.7
日常生活が不便	33.3
都会で暮らしてみたい	56.7
家族等が出ることを望んでいる	13.3
仲間（若者）がいない	6.7
配偶者の確保（結婚）が難しい	13.3
教養・娯楽施設がない	33.3
自分以外の跡継ぎがいる	0.0
その他	10.0

■将来地元に戻りたいか

選択肢	割合 (%)
ぜひ戻りたい	3.3
できれば戻りたい	23.3
どちらともいえない	36.7
できれば戻りたくない	16.7
戻る考えはまったくない	10.0
わからない	10.0

■将来地元に戻る場合、いつ戻りたいか

選択肢	割合 (%)
都会に飽きたら	12.0
結婚したら	25.0
親の介護が必要になったら	25.0
わからない	38.0

■就職・仕事に求めるもの

選択肢	割合 (%)
地域や人に貢献できる仕事がしたい	40.0
趣味や特技をいかせる仕事がしたい	48.6
やりがいのある仕事がしたい	72.9
知名度の高い企業等で働きたい	5.7
とにかく都会で働きたい	8.6
高い収入が得られる仕事がしたい	22.9
最低限必要な所得が得られればよい	37.1
自分で起業したい	4.3
その他	2.9

■農業に関心があるか

選択肢	割合 (%)
大いに興味がある	7.0
少しは興味がある	28.2
あまり関心がない	29.6
まったく関心がない	22.5
わからない	9.9
無回答	2.8

■農業に従事したいか

選択肢	割合 (%)
ぜひ従事したい	2.8
所得（収入）が確保できるなら従事したい	2.8
兼業（農業以外が主）なら従事したい	7.0
家庭菜園程度ならやりたい	28.2
あまり従事したくない	22.5
まったく従事したくない	18.3
わからない	14.1
無回答	4.2

■農業に従事したくない理由

選択肢	割合 (%)
安定した所得（収入）の確保が難しい	0.0
手間暇（労力と時間）がかかる	20.7
肉體労働が嫌い	31.0
天候等に左右されるので難しい	17.2
農業は3Kのイメージがある	27.6
配偶者の確保（結婚）が難しい	20.7
とにかく農業が嫌い	37.9
その他	13.8

■まちづくりワークショップ等に参加してみたいか

選択肢	割合 (%)
ぜひ参加したい	8.5
どちらかといえば参加したい	25.4
どちらかといえば参加したくない	16.9
まったく参加したくない	11.3
わからない	33.8
無回答	4.2

■町に若者が集まる機会があると思うか

選択肢	割合 (%)
大にある	1.4
少しはある	26.8
あまりない	39.4
まったくない	14.1
わからない	16.9
無回答	1.4

4. 策定部会ワークショップでの検討内容

策定部会名簿（五十音順、敬称略）	
町ホームページや各種機関、団体を通して参加いただいた町民	
愛澤 麻衣子 / 岩淵 百合 / 大竹 隆男 / 川島 敬章 / 菊地 新六 /	
桑名 誠 / 塩生 渉 / 高橋 一成 / 田沢 友伸 / 藤 雄一郎 /	
滑田 崇志 / 星 善光 / 室井 実 / 湯田 拓巳 / 渡部 教彦 /	
渡部 政昭 / 渡部 雅俊 / 渡部 裕太	

■生活環境部会の検討のまとめ

目標の柱 (案)	きれいな水が育む誰もが輝くまちづくり 元気の行き交う安心と助け合いのまちづくり
目指す姿 (目標)の アイデア	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>水</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「水」をキーワードに。日本一の水道水 ・美しい川へ ・安全な水道水の安定供給 ・合併浄化槽への交換、汚水処理の普及 ・ごみ減量・地球温暖化対策 ・食品ロス削減、不法投棄ゼロ、リサイクル率アップ ・町の CO2排出量削減、エコカー登録 <p>自然環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来生物の減少 ・豊かな自然アピール ・自然をいかした仕事の間、田畑や別荘のシェア ・小水力発電、雪のエネルギー利用、森林資源の熟利用 </div> <div style="width: 30%;"> <p>高齢者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が中心の新しいコミュニティの創造 ・生涯現役の地域づくり、活動場所づくり ・若者と高齢者の交流の場 ・介護予防で元気な高齢が増える ・一人暮らし高齢者の見守りシステム <p>医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に歩く習慣づけ(意識&エコ意識) ・医療費負担、医療制度の活用の不十分さが課題 </div> <div style="width: 30%;"> <p>子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人親世帯でも安心して子育てできる ・地域ぐるみの子育て環境づくりで安心して仕事ができる親の支援 ・保育所 子育て家庭の支援 ・子ども食堂 かけ込み寺 <p>公共交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利便性の高い公共交通体系、必要ときに利用できる公共交通 ・人を運ぶ、物を運ぶ、金が回る仕組み <p>防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む中で地域での備えや見守りが必要 </div> </div>
検討の まとめ	<p>豊かな自然や水によって、町民が健康に過ごせるよう、全町をあげて環境保全に取り組む必要がある。</p> <p>また、町民一人ひとりが健康で、安全で安心して快適に暮らすことを町全体で共有することが重要である。そのほか一人暮らし高齢者や子ども、若者などの居場所を地域でつくることも求められる。</p> <p>そのため、公共交通や医療、水道などの生活基盤の整備・拡充、地域コミュニティの構築による防災・防犯などを通して、誰もが輝き、元気の行き交う安心と助け合いのまちづくりをする必要がある。</p>

■農林部会、商工観光部会の検討のまとめ

目標の柱 (案)	南会津の魅力と活力をふくらませる 農林業の好循環を！ 内外の消費を刺激する持続可能なまちづくり 地域資源をいかした“外貨”の獲得		
目指す姿 (目標)の アイデア	モノ(農林業) <ul style="list-style-type: none"> 高品質でおいしい農産物の安定供給 地域(農林業) <ul style="list-style-type: none"> 優良農地の確保 地域と環境の保全 森林資源利用 金(農林業) <ul style="list-style-type: none"> 経営の安定 販売額の向上 PR(農林業) <ul style="list-style-type: none"> 知名度の向上 農業の良さのPR 南会津のオリジナリティーの発揮 負のイメージの払拭(肉体労働、やりがい) 	人 <ul style="list-style-type: none"> 将来の担い手の育成、(将来にわたって)農業をやってくれる人、意欲のある人の発掘 研修制度の充実 コーディネーターの育成・確保、資源と市場ニーズとのコーディネート 販売戦略 内外の消費の刺激(商工・観光) <ul style="list-style-type: none"> 地域内消費の循環、地元にお金の落ちる仕組みづくり 後継者の育成 就労の場の確保、企業誘致 にぎわいのある商店街 定住支援 町民に対する支援 	“外貨”の獲得(商工・観光) <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の充実 人の流れをつくる 教育旅行、都市交流 人材育成 情報発信 6次化商品の開発 イベント 全般(商工・観光) <ul style="list-style-type: none"> 何でも来なくなるまち 自然の活用、伝統文化の活用、観光資源の活用 地域資源の組み合わせ、ストーリーづくり
検討の まとめ	<p>現在悪循環に陥っている農業・林業を好循環に持っていくためには、いかに「儲け」を生み出し、地域が潤い、人が活性化し、良い物を作り、全国へのPRにつなげていけるかが大事である。好循環をまわすのは人であり、まずは人材の確保・育成からはじめ、物・PR・お金・地域に良い効果を波及させる必要がある。</p> <p>本町には就労の場が少ないほか、商店街も店が少なく活気がない現状を打破するため、商工業や観光で町内外の消費を刺激し、町内の経済を循環させていく必要がある。また、自然環境や伝統文化など、これまでの本町の基盤をつくってきた資源に加え、地域にある資源を改めて深掘りするとともに、それらをつなぎ合わせてストーリー化して発信することによって、観光、教育旅行、移住など、外から人を呼び込む必要があり、このことが人、物、お金、地域資源の循環につながる。</p>		

■建設部会の検討のまとめ

目標の柱 (案)	みんなが楽しめて魅力あるまちづくり 道路インフラの整備・充実で快適な住環境を構築する		
目指す姿 (目標)の アイデア	全体 <ul style="list-style-type: none"> 10年後だけでなく、長期的な未来を見据えた南会津町の姿の検討 楽しめるまち <ul style="list-style-type: none"> SLを置く場所を変えてみては 需要がニッチな商店を後押し ロボットと共存するまち 昭和レトロのまち並みを逆にいかす 仮想空間を楽しめる場所 VRの活用 金を稼げる施設、農業体験施設、目玉となるような施設 	魅力あるまち <ul style="list-style-type: none"> 昔の風景と今の風景の比較 若い人が注目する景観づくり 移動による病院、子育ての負担軽減 お金持ちが住みたくなるまち、高級住宅街 道路インフラ <ul style="list-style-type: none"> 近隣の都市へのアクセス 会津縦貫道路との結合 地域高規格道路 自動運転 	快適な住環境 <ul style="list-style-type: none"> 免許返納も増えてきている 道路の維持 除雪の費用、助け合う除雪体制 雪が積もらないまち、小エネルギーで雪を消せる。 高機能住宅、コンパクトシティの考え 公共交通の整備、モビリティデマンドタクシー クリーンエネルギーの車を導入
検討の まとめ	<p>本町が有している自然の原風景や昭和レトロなまち並みなど今あるものをいかしながら、VRのような最新技術を用いた、誰もが楽しめるような魅力あるまちづくりを進める必要がある。また、道路や景観など目に見えるものをさらに整備・充実し、快適な住環境を構築する必要がある。</p> <p>また、自動運転の利用や縦貫道の接続により、誰もが自由に行き来できれば、世代間交流が進み、快適な社会に近づくのではないかと。</p> <p>そのほか、人が来なくなるような目玉となる施設をつくり、PRできると良い。</p>		

■教育部会の検討のまとめ

<p>目標の柱 (案)</p>	<p>まちを知り まちを愛し まちを楽しむ 世代を超えた”共育”のまちづくり ふるさとに誇りを持ち 世代をつなぐ”共育”のまちづくり 郷土を愛し 世代を超えてともに学ぶまちづくり</p>		
<p>目指す姿 (目標)の アイデア</p>	<p>学校教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域みんなで子どもを育てていく形が理想 インターネットの積極的活用、オンライン(インターネット)で教育環境変化 オープンな教育が必要 職場体験(キャリア教育) コミュニティスクール <p>学校外の子どもの居場所</p> <ul style="list-style-type: none"> 公営塾の開設 子ども食堂⇄リモートワーク 	<p>地域とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合学習への地域住民の積極的な参加 地域の人との交流・接点を増やす⇒積極的な交流 縦割イベント 世代間交流 みんなが一人一芸 地域と協働で子どもを育成する PTA 活動 <p>文化財の保全・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財の保護 埋蔵文化財の発掘 文化財にこだわらず地域資源の掘り起こし・地域行事 伝統文化と伝統行事の継承 	<p>郷土を学ぶ機会</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭の中で郷土愛を育む→育まれた郷土愛が広がる→自分の家庭も育つ→地域とつながるといふ流れが理想 ”地元学”、南会津学、 郷土を学ぶ機会の拡充 方言の資料 <p>社会教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の文化財、伝統芸能、スポーツ以外にも、地域資源を掘り起こすことが重要 幅広い世代がともに学べる機会の拡充 家庭教育講座(出前講座) スポーツ行事 陸上 ソフト 野球
<p>検討の まとめ</p>	<p>人口の流出を食い止めるには地域愛を育む必要があり、世代を超えてともに育つという意味で“共育”が今後必要となる。</p> <p>教育は人づくり、地域づくりになる。そのため、町民みんながともに育ち、生涯学習を進めていくのが理想である。</p> <p>そのためには、家庭内で郷土愛を育み、地域みんなで子どもを育てていくほか、地域資源の掘り起こしや地域行事継続による世代間交流も重要である。</p>		

■行財政部会の検討のまとめ

<p>目標の柱 (案)</p>	<p>誰もが主役で誰もがつながる未来を見据えた行政</p>		
<p>目指す姿 (目標)の アイデア</p>	<p>行政運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政手続の簡素化・スリム化(人件費・負担削減、民間への委託) 「ムダ」を減らしていく コンパクトシティの検討 <p>情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の共有・開かれた行政情報発信 「見える行政」。分かりやすい情報開示 <p>広域連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 同一経済圏の意識、近隣行政との連携 	<p>町民協働・地域活動・交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 支所の活躍・元気で明るい支所 町民を巻き込んだ行財政、町民と行政のつながり 国際交流 声をあげる場 交流人口に力を入れる 世代を超えた交流や集落間の連携交流 <p>移住定住に向けたデジタル化</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT・IOT・5G 化 100 歳(高齢者)のインターネット利用 手続き・申請のオンライン化 電子媒体講座(高齢者向き) 	<p>仕事づくり・産業</p> <ul style="list-style-type: none"> マッチング 財政健全→持続可能 働き口の確保→所得の増加 建設業・農業・林業などへの女性の進出 産業の AI 化 <p>人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域全体での子育て・介護 シルバー人材をゴールド人材へ 年齢の概念に「待った」 人材のネットワーク化 女性活躍
<p>検討の まとめ</p>	<p>本町では人口減少が進んでいるが、人手不足は情報技術の進展(デジタル化)により補うことができる。老若男女問わず町民みんなが主役となり、様々な機会・方法で町内外とつながり、町民と行政が一体となって同じ未来を見据えてまちづくりに取組んでいく必要がある。</p> <p>また、町民が主役となるには、デジタル化や情報発信などの環境・仕組みづくりや活躍できる機会を創ることも必要である。</p>		

町の花・木・鳥

町の花



ヤマツツジ

町の木



ブナ

町の鳥



ウグイス

南会津町 町民の歌 — 春夏秋冬 —

作詞 平野恵美子
補作詞 松井孝夫
作曲 松井孝夫

一、春告げる うぐいすの声

雪解けの水 清らかに

大地は目覚め 柔らかに

生命の歌を奏でるよ

愛するこの町で

幸せに生きよう

支え合い 信じあい

私たちの 南会津町

三、秋告げる 茜の夕日

黄金の原を 彩るよ

実り豊かに 暮れる郷

感謝の歌を奏でるよ

愛するこの町で

幸せに生きよう

支え合い 信じあい

私たちの 南会津町

二、夏告げる ブナ林の風

木々の緑の 眩しさよ

雲湧き上がる 山の峰

希望の歌を奏でるよ

愛するこの町で

幸せに生きよう

支え合い 信じあい

私たちの 南会津町

四、冬告げる 真白き雪よ

銀河のひかり 輝いて

全てをつつむ 雪原に

慈愛の歌を奏でるよ

愛するこの町で

幸せに生きよう

支え合い 信じあい

私たちの 南会津町

町の宣言

みんなの力は地域のカ、みんなで創る協働のまちづくり宣言

(平成 29 年 6 月 9 日)

移りゆく四季、人と自然を未来につなぐまちづくり宣言

(平成29年 6 月 9 日)

非核平和の町宣言

(平成21年11月25日)

第 3 次南会津町総合振興計画

令和 5 年 3 月

発行：南会津町

編集：南会津町 総合政策課

〒967-0004

福島県南会津郡南会津町田島字後原甲 3531 番地 1

TEL：0241-62-6100 (代表)

URL：https://www.town.minamiaizu.lg.jp/

